

北海道新幹線開業による事業への影響について

平成29年3月16日

北海道経済連合会
一般社団法人東北経済連合会

【目 次】

北海道新幹線開業による事業への影響に関するアンケート調査結果	3ページ
北海道新幹線開業による事業への影響に関するアンケート調査票 (北海道経済連合会会員企業あて)	33ページ
北海道新幹線開業による事業への影響に関するアンケート調査票 (東北経済連合会会員企業あて)	39ページ
(参考)北海道新幹線開業1年の状況	45ページ

アンケート調査結果のポイント

- ◆ 北海道新幹線による事業所へのプラスの影響があるとの回答は、開業後は開業前よりも少し減少したが、札幌延伸時にはプラスの影響があるとの回答が増加しており、札幌延伸への期待がうかがえる。(5ページ)
- ◆ プラスの影響については、北海道企業は「観光客の増加」、東北企業は「交通利便性の向上」との回答が最も多い。(11～12ページ)
- ◆ 北海道新幹線による事業所へのマイナスの影響に関しては、北海道企業・東北企業ともに各時点で「特にない」との回答が圧倒的に多かった。(14～15ページ)
- ◆ 開業前や札幌延伸時は新たな対応・取組として「取引先の開拓」と回答した企業が多く、新幹線延伸を機に具体的なビジネスにつなげようとする意思がうかがえる。(16ページ)
- ◆ 北海道・東北発展のため、北海道企業は「新たな観光ルートの開発」「二次交通の整備」など道内各地への周遊環境整備、東北企業は「新たな観光ルートの開発」「北海道・東北の魅力についての情報発信」「経済・文化面における連携」等、北海道と東北が一体となって相乗効果を生み出すことに取り組むべきと考えている。(22ページ)
- ◆ 札幌延伸時期の認知度は、北海道企業はほぼ100%、東北企業約60%。(24ページ)
- ◆ 札幌延伸については「早い方が良い」との回答が8割を超えている。(25ページ)

北海道新幹線開業による事業への影響に関するアンケート調査実施要領

- ◆ 平成28年10月から11月に、北海道新幹線が北海道及び東北に及ぼす影響を把握するため、北海道経済連合会、東北経済連合会会員企業向けに郵送によるアンケート調査を実施した。
- ◆ 今回のアンケート調査の概要は以下の通り。

<調査方法>

郵送により調査票を発送し、FAXにて回収

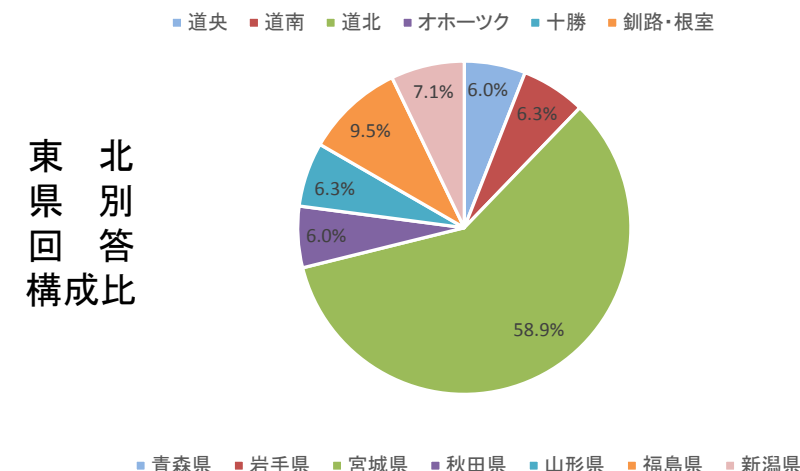
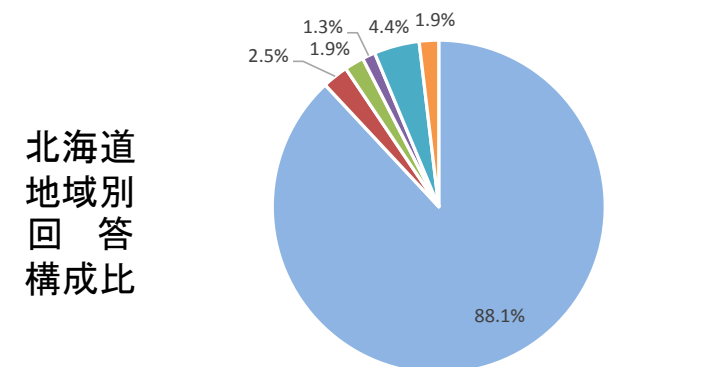
<調査対象>

北海道経済連合会会員企業及び東北経済連合会会員企業

地域	対象企業数	回答社数	回答率
北海道	474社	159社	33.5%
東北	880社	337社	38.3%
合計	1,354社	496社	36.6%

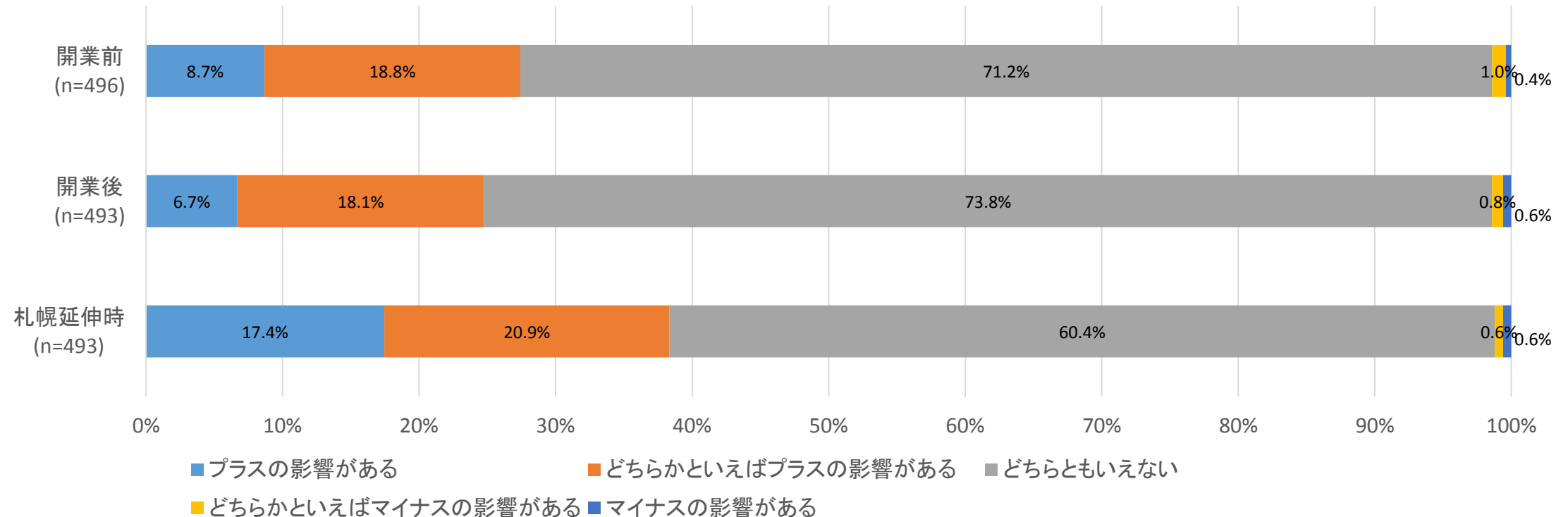
<調査期間>

平成28年10月31日(月)～11月30日(水)



Q1(開業前)・Q5(開業後)・Q14(札幌延伸時) 北海道新幹線開業による事業所への影響

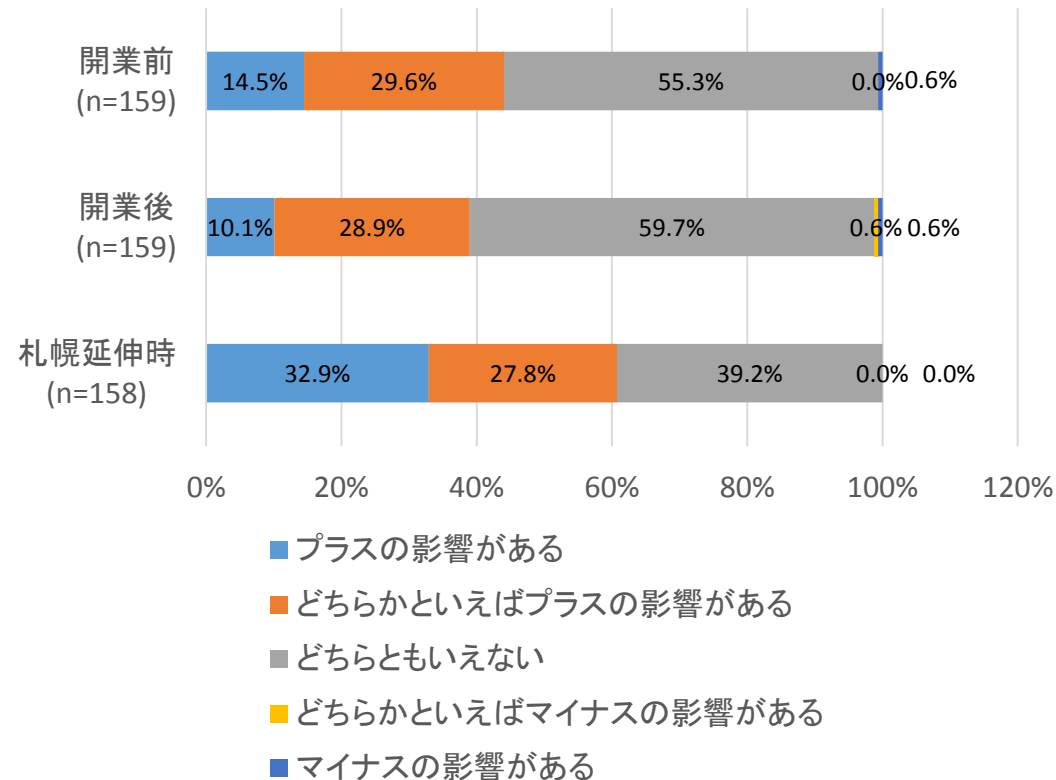
◆「プラスの影響」「どちらかといえばプラスの影響」との回答は開業前後で概ね差がないが、**札幌延伸時についてはプラスの影響と考えている企業が増えており、札幌延伸への期待がうかがえる。**



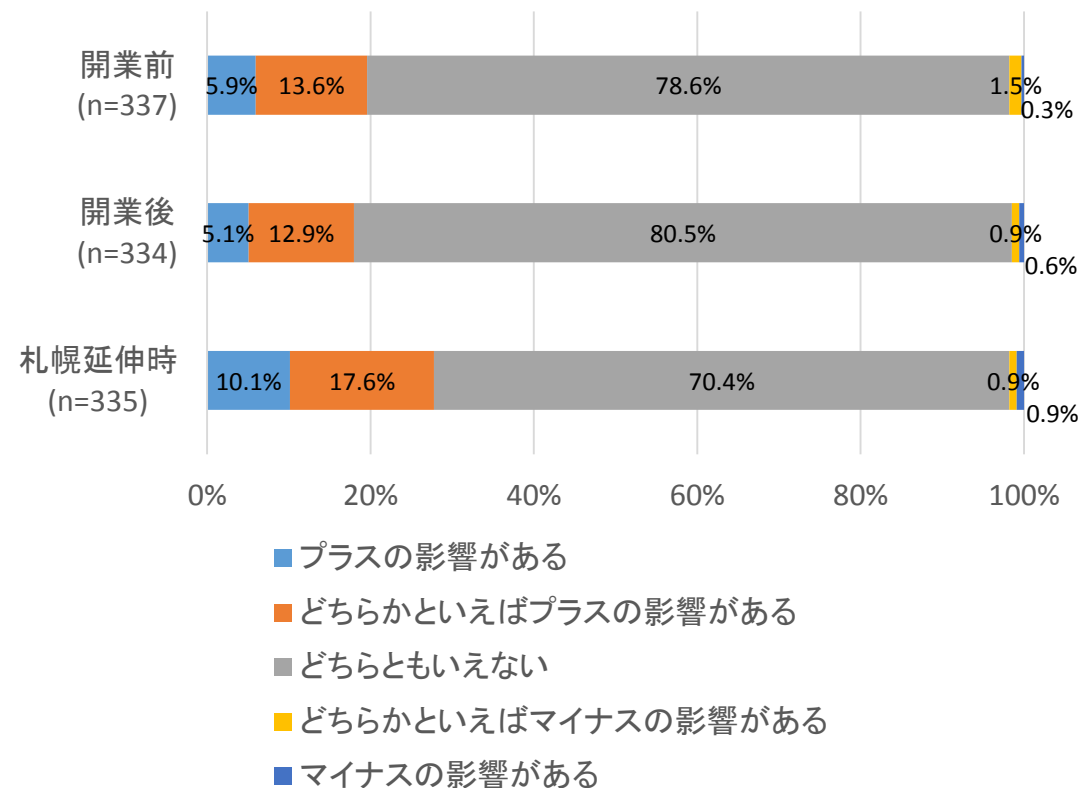
Q1(開業前)・Q5(開業後)・Q14(札幌延伸時) 北海道新幹線開業による事業所への影響(北海道・東北企業別)

- ◆「プラスの影響」「どちらかといえばプラスの影響」との回答が開業前後で概ね差がなく、札幌延伸時にプラスという回答が増えているのは両地域で共通している。
- ◆ 北海道企業の方がプラスの回答割合が高く、北海道新幹線への期待の度合いが高い。

北海道

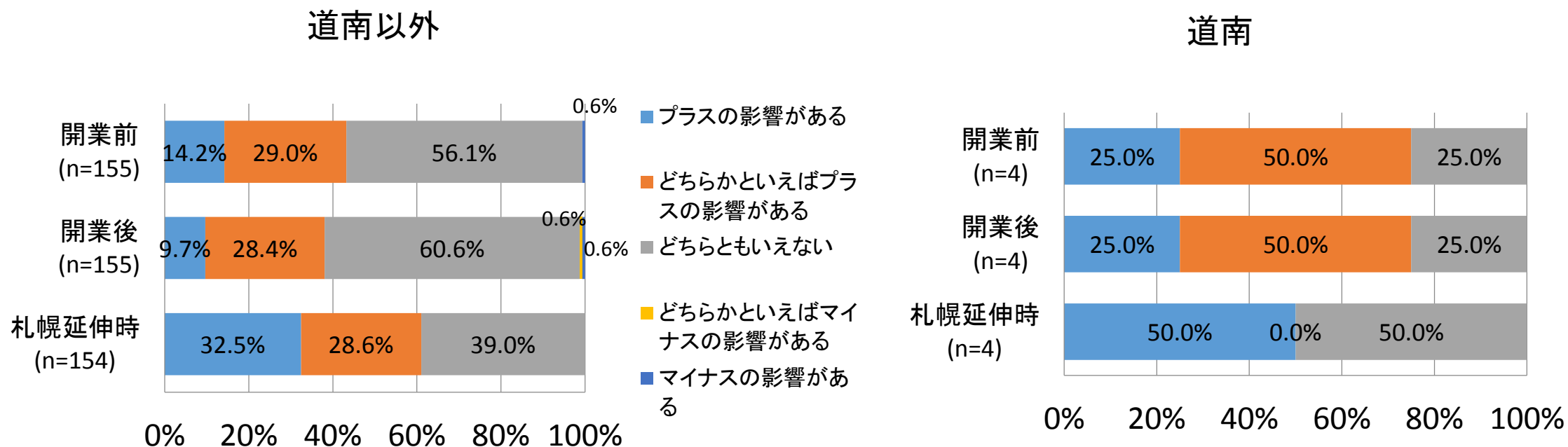


東北



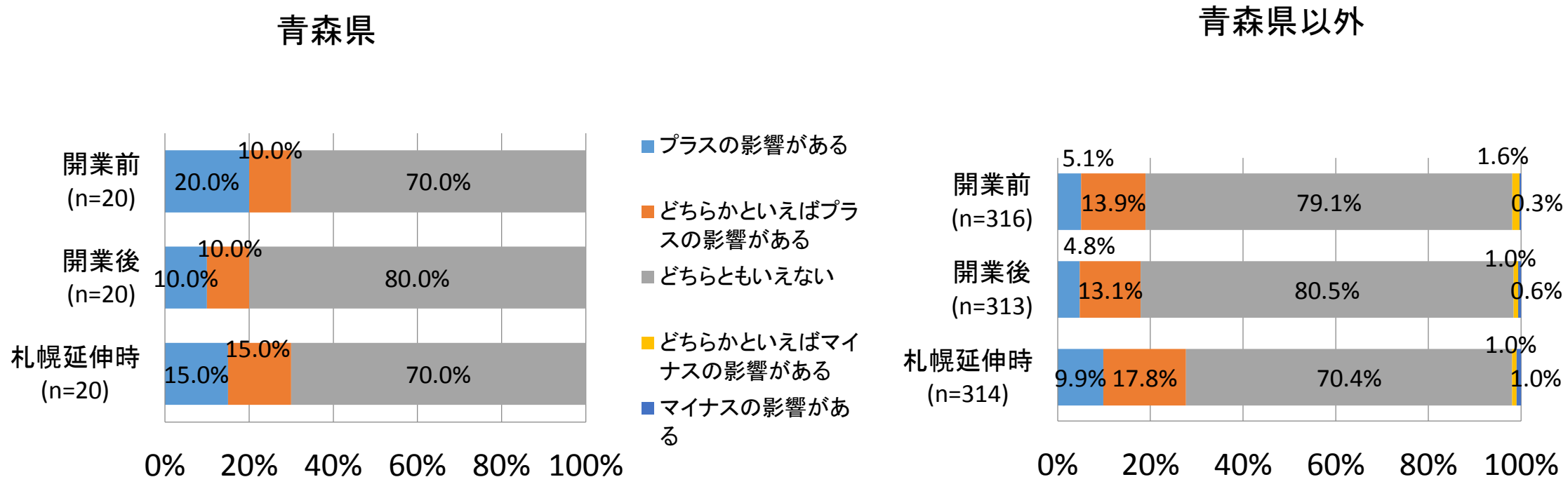
Q1(開業前)・Q5(開業後)・Q14(札幌延伸時) 北海道新幹線開業による事業所への影響(北海道企業)

- ◆ 北海道企業について地域別にみると、道南以外の地域において、開業後に若干プラスが減少しており、新幹線の効果を実感できていない可能性があると考えられる。一方、**札幌延伸時のプラス回答が増えており、札幌延伸への期待がうかがえる。**
- ◆ 道南地域は札幌延伸時には「プラスの影響ある」と「どちらともいえない」が拮抗し、札幌延伸による集客力の低下等を危惧していると考えられる。



Q1(開業前)・Q5(開業後)・Q14(札幌延伸時) 北海道新幹線開業による事業所への影響(東北企業:青森県と青森県以外の企業別)

◆ 青森県企業と青森県以外の企業では、回答傾向に大きな違いはみられない。



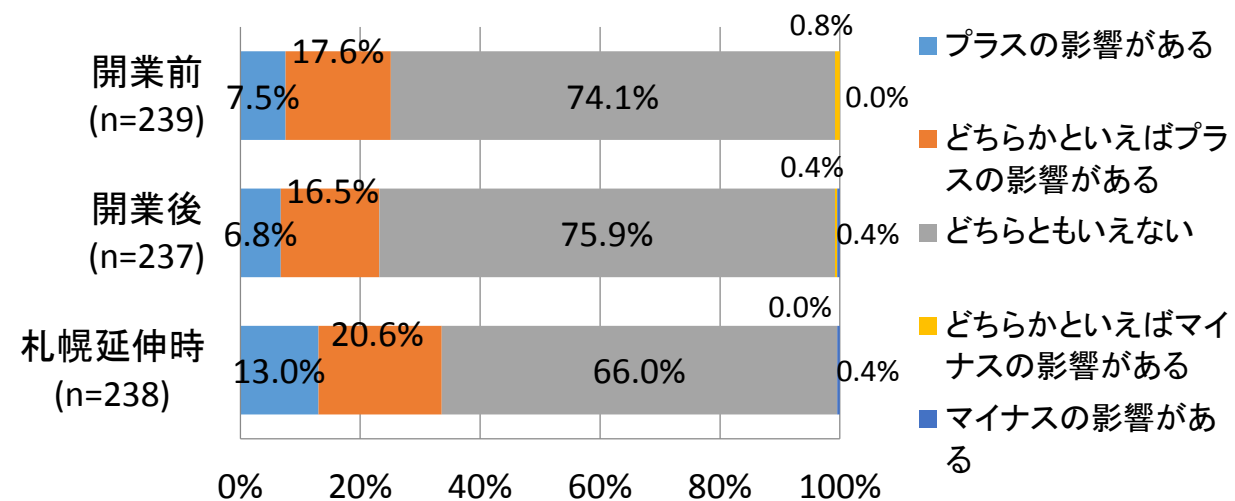
Q1(開業前)・Q5(開業後)・Q14(札幌延伸時)

北海道新幹線開業による事業への影響(東北企業:北海道新幹線が停車する県とその他の県の企業別)

- ◆ 北海道新幹線が停車する県の企業とその他の県の企業に分けて比較すると、停車する県の企業の方がプラスの影響があるとの回答割合が高く、期待感がうかがえる。

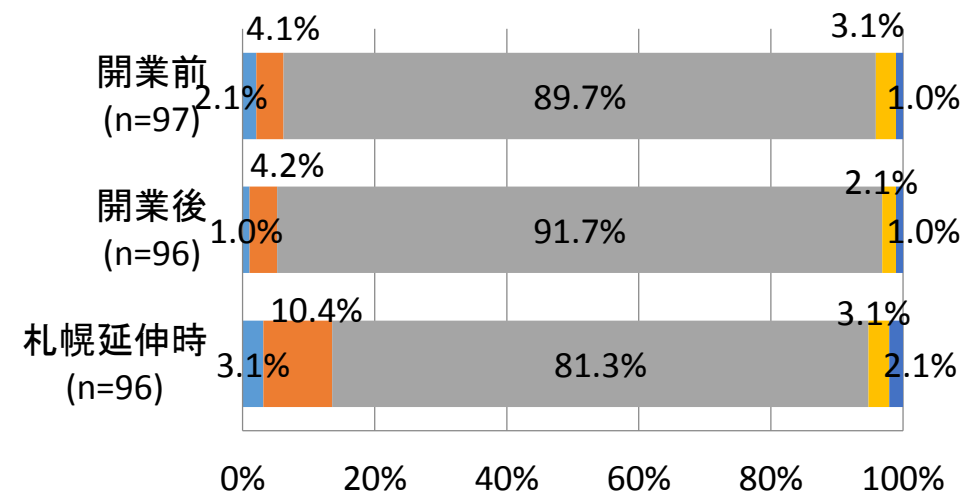
北海道新幹線が停車する県

(青森県、岩手県、宮城県)



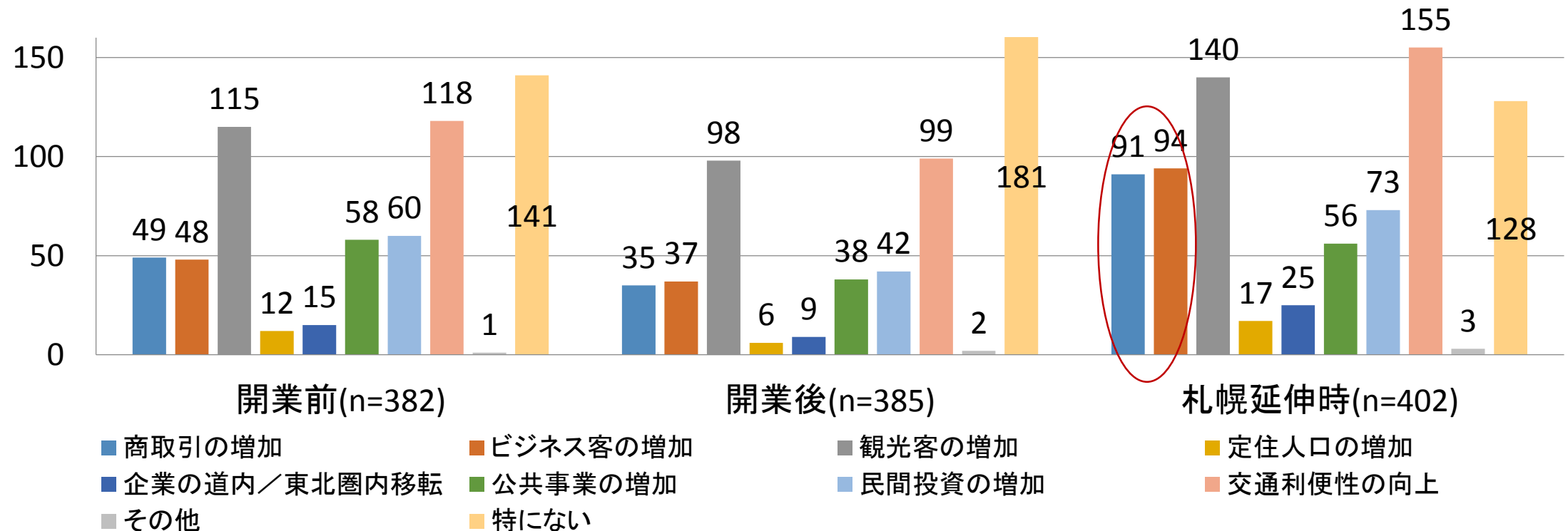
その他の県

(秋田県、山形県、福島県、新潟県)



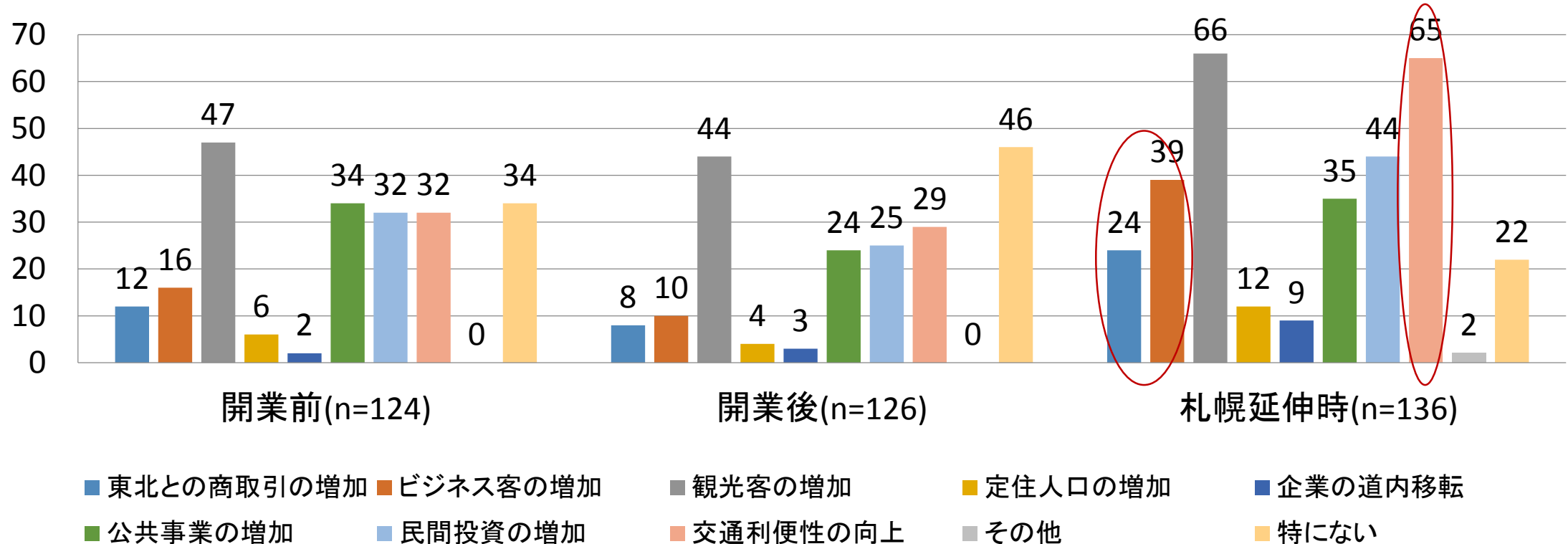
Q2(開業前)・Q6(開業後)・Q15(札幌延伸時) 北海道新幹線開業による事業所へのプラスの影響(複数回答)

- ◆「特にない」を除き、各時点で「観光客の増加」と「交通利便性の向上」をプラスの影響と回答している企業が多く、交流人口の増加や利便性をプラスの影響と考えている。
- ◆ 札幌延伸時には「商取引の増加」と「ビジネス客の増加」をプラスの影響と考えている企業が増えており、期待感がうかがえる。



Q2(開業前)・Q6(開業後)・Q15(札幌延伸時) 北海道新幹線開業による事業所へのプラスの影響(北海道企業:複数回答)

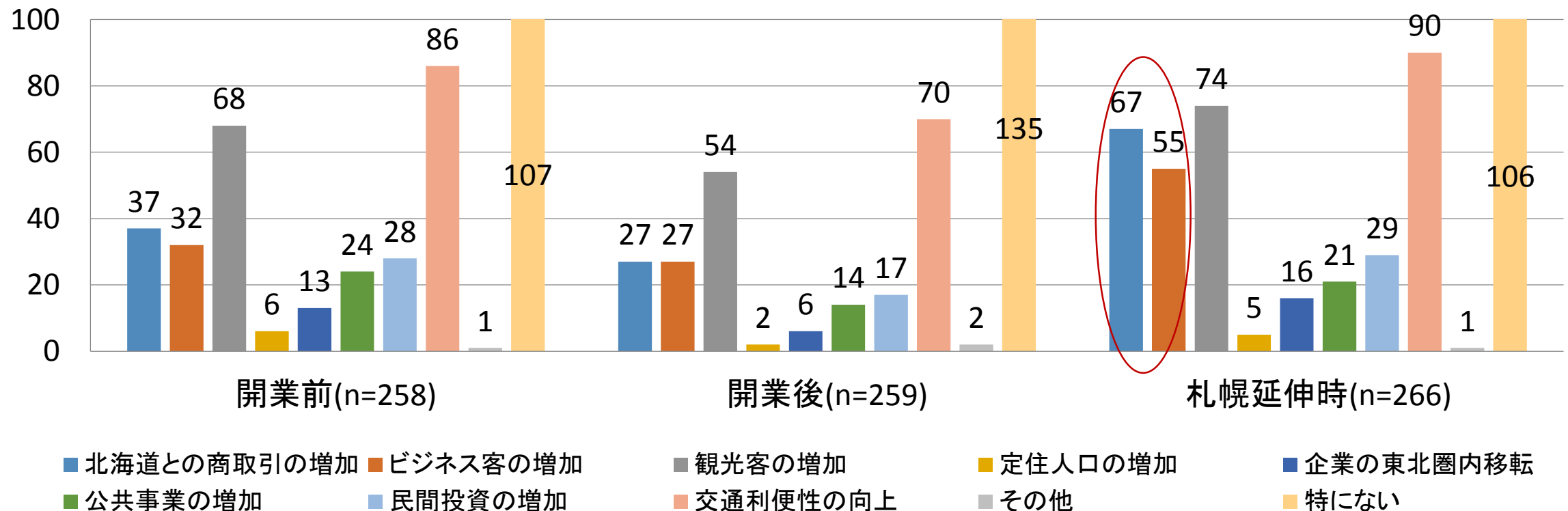
- ◆ 各時点で「観光客の増加」をプラスの影響と回答している企業が多く、交流人口の増加をプラスの影響と考えている。
- ◆ ただし、開業後は「公共事業の増加」「民間投資の増加」との回答が減少しており、北海道新幹線を起点とした投資が当初期待したほどではなかったものと考えられる。
- ◆ **札幌延伸時には、開業前後に比べて全項目で回答数が増加した。また、「交通利便性の向上」「東北との商取引の増加」「ビジネス客の増加」と回答した企業が大幅に増え、期待感がうかがえる。**



Q2(開業前)・Q6(開業後)・Q15(札幌延伸時)

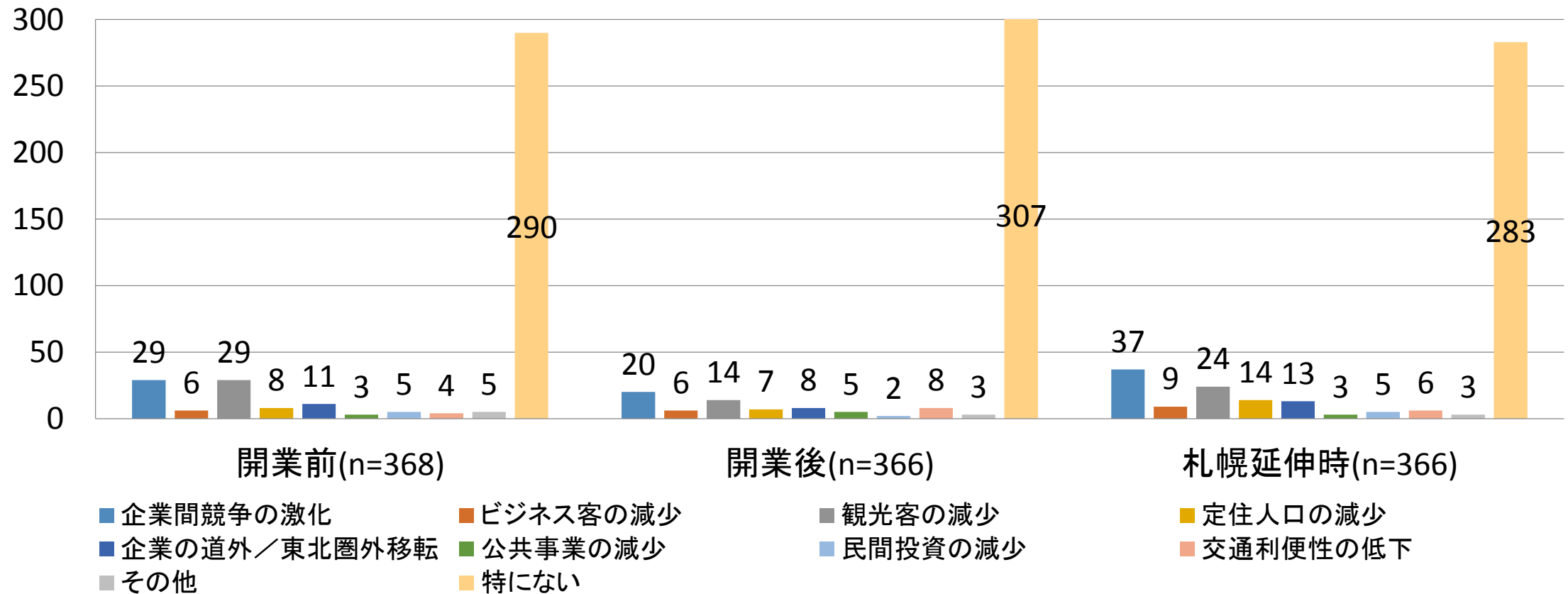
北海道新幹線開業による事業所へのプラスの影響(東北企業:複数回答)

- ◆「特にない」を除き、各時点で「交通利便性の向上」をプラスの影響と回答している企業が多く、北海道への行きやすさをプラスの影響と考えている。次いで「観光客の増加」との回答が続き、北海道とは異なる傾向がみられる。
- ◆ 札幌延伸時には、加えて「北海道との商取引の増加」「ビジネス客の増加」と回答する企業が大幅に増えており、期待感がうかがえる。



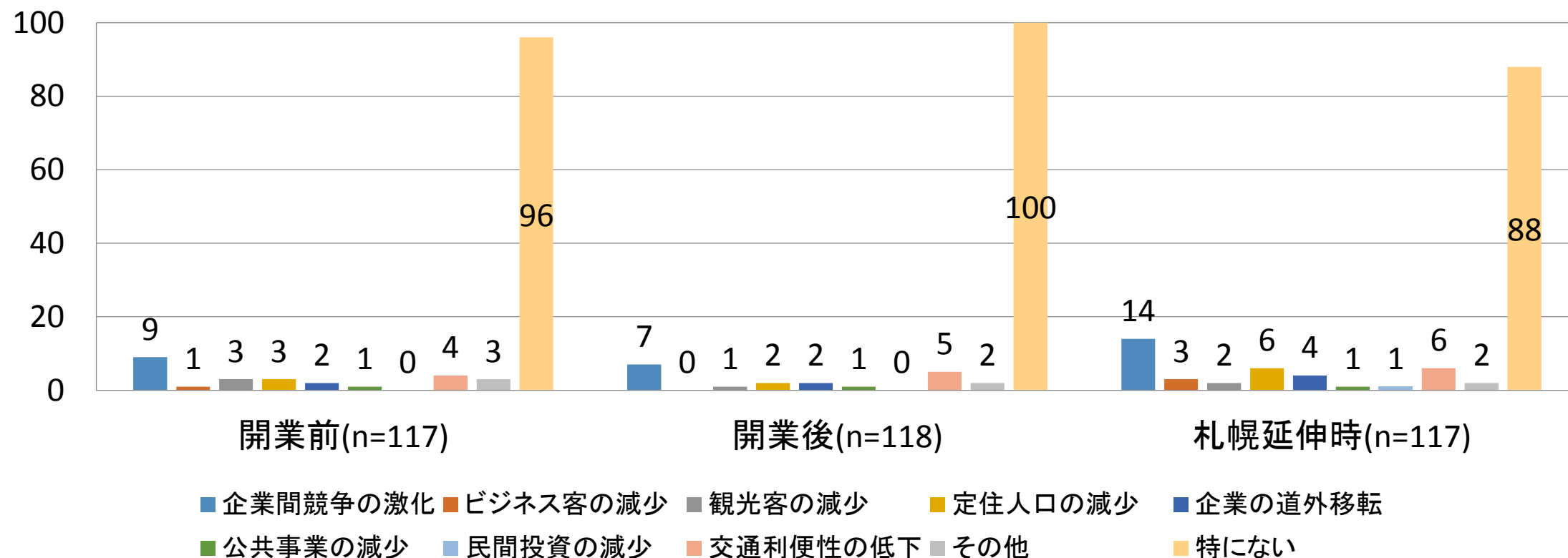
Q3(開業前)・Q7(開業後)・Q16(札幌延伸時) 北海道新幹線開業による事業所へのマイナスの影響(複数回答)

- ◆ 各時点で「特にない」と回答している企業が圧倒的に多く、北海道新幹線を後ろ向きに捉えている企業は少ない。
- ◆ 札幌延伸時には「企業間競争の激化」がやや増加するものの、マイナスの影響を懸念する回答は少ない。



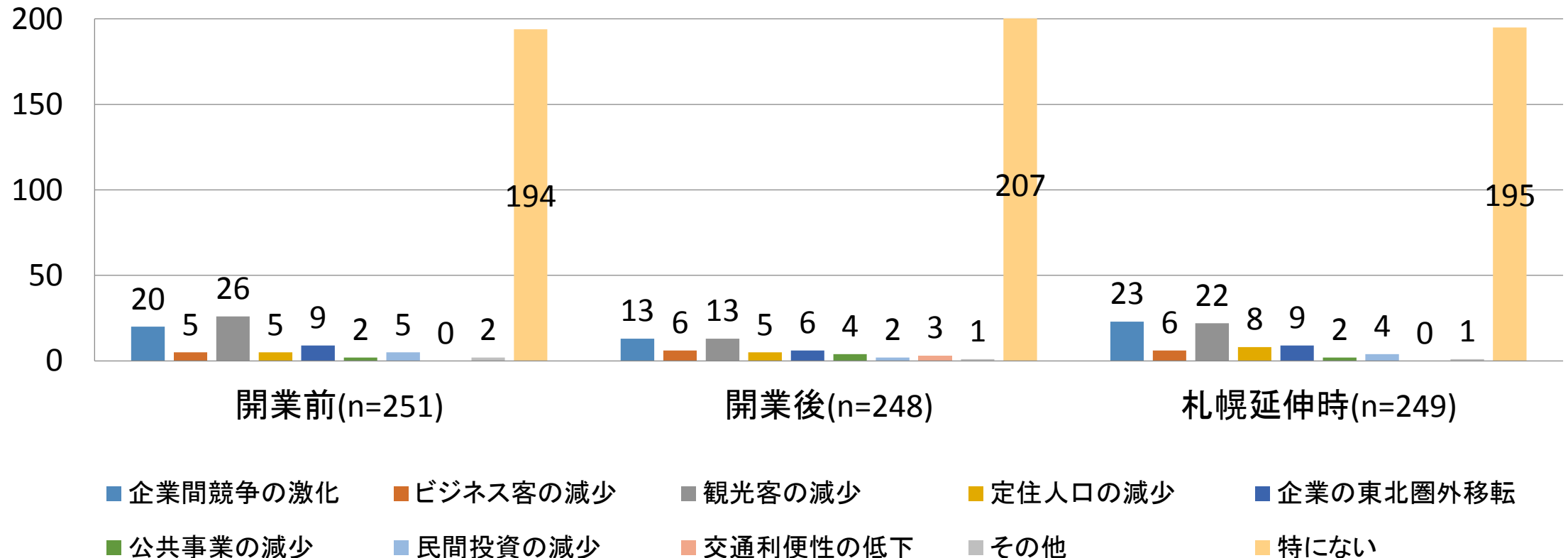
Q3(開業前)・Q7(開業後)・Q16(札幌延伸時) 北海道新幹線開業による事業所へのマイナスの影響(北海道企業:複数回答)

- ◆ 各時点で「特になし」と回答している企業が多く、北海道新幹線を後ろ向きに捉えている企業は少ない。
- ◆ 札幌延伸時には「企業間競争の激化」がやや増加するものの、マイナスの影響を懸念する回答は少ない。



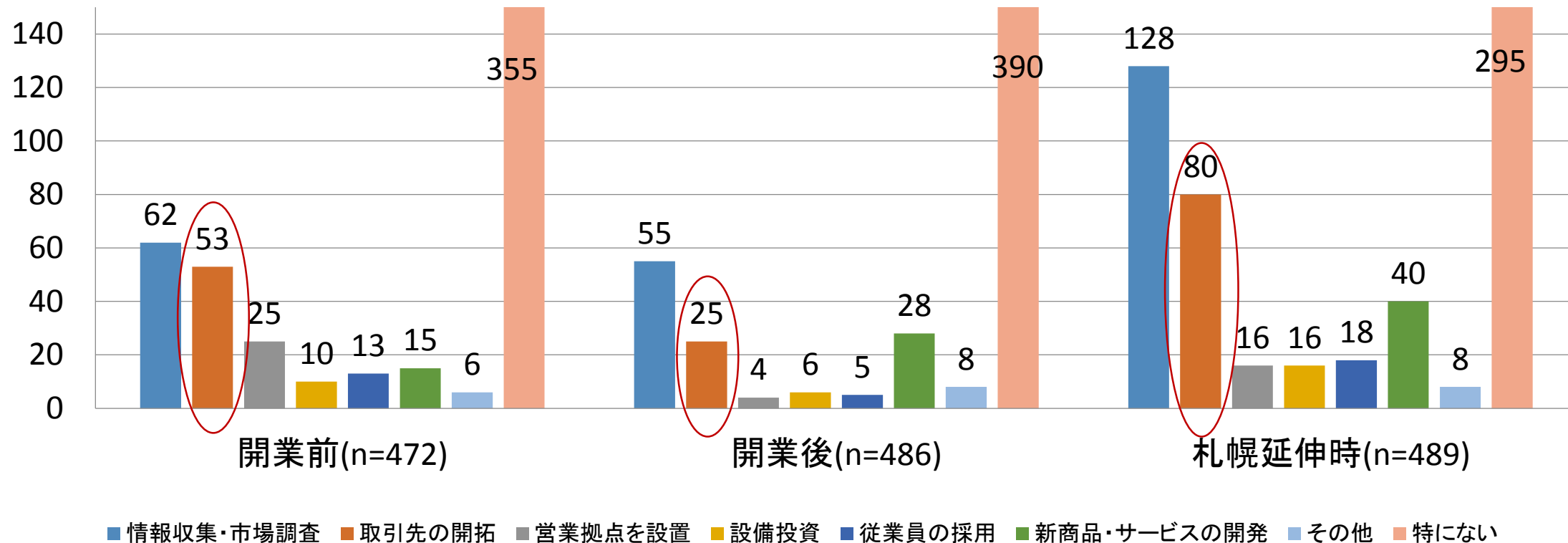
Q3(開業前)・Q7(開業後)・Q16(札幌延伸時) 北海道新幹線開業による事業所へのマイナスの影響(東北企業:複数回答)

- ◆ 各時点で「特にない」と回答している企業が圧倒的に多く、北海道新幹線を後ろ向きに捉えている企業は少ない。
- ◆ 札幌延伸時には開業後に比べて「企業間競争の激化」「観光客の減少」がやや増加するものの、マイナスの影響を懸念する回答は少ない。



Q4(開業前)・Q8(開業後)・Q17(札幌延伸時) 北海道新幹線開業前後での具体的な対応・取組(複数回答)

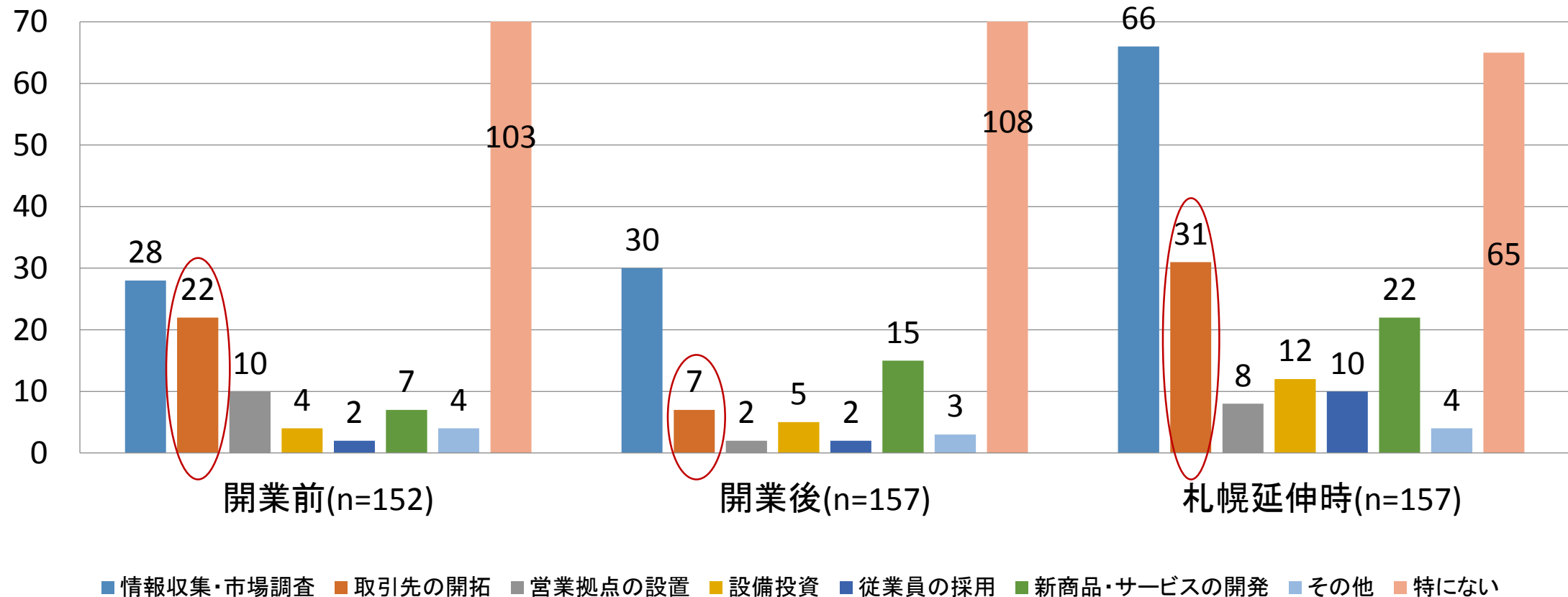
- ◆「特にない」を除けば、各時点で「情報収集・市場調査」と回答した企業が多く、具体的な行動には至っていないと考えられる。
- ◆ 開業前や札幌延伸時には「取引先の開拓」と回答した企業が多く、新幹線延伸を機に具体的なビジネスにつなげようとする意思もうかがえる。



Q4(開業前)・Q8(開業後)・Q17(札幌延伸時)

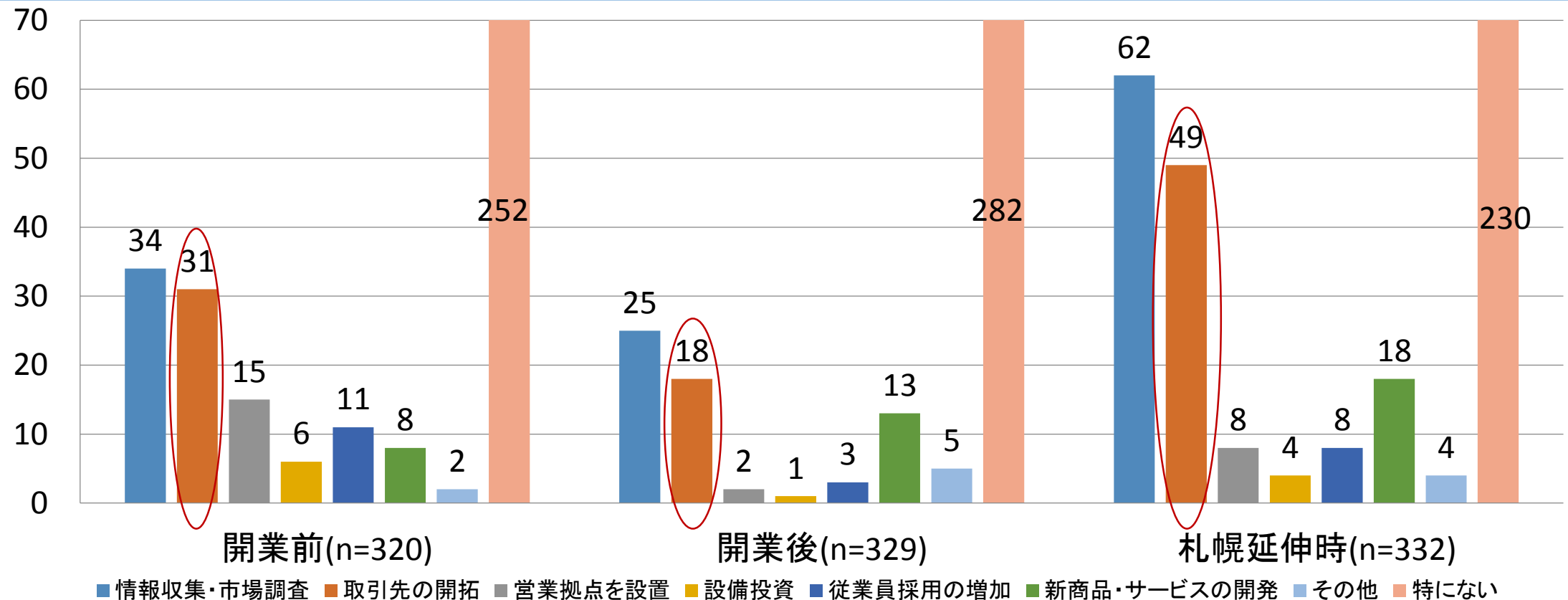
北海道新幹線開業前後での具体的な対応・取組(北海道企業:複数回答)

- ◆「特にない」を除けば、各時点で「情報収集・市場調査」と回答した企業が多いが、それ以外の対応・取組は多くなかった。
- ◆ 開業前や札幌延伸時には「取引先の開拓」と回答した企業が多く、新幹線延伸を機に具体的なビジネスにつなげようとする意思もうかがえる。



Q4(開業前)・Q8(開業後)・Q17(札幌延伸時) 北海道新幹線開業前後での具体的な対応・取組(東北企業:複数回答)

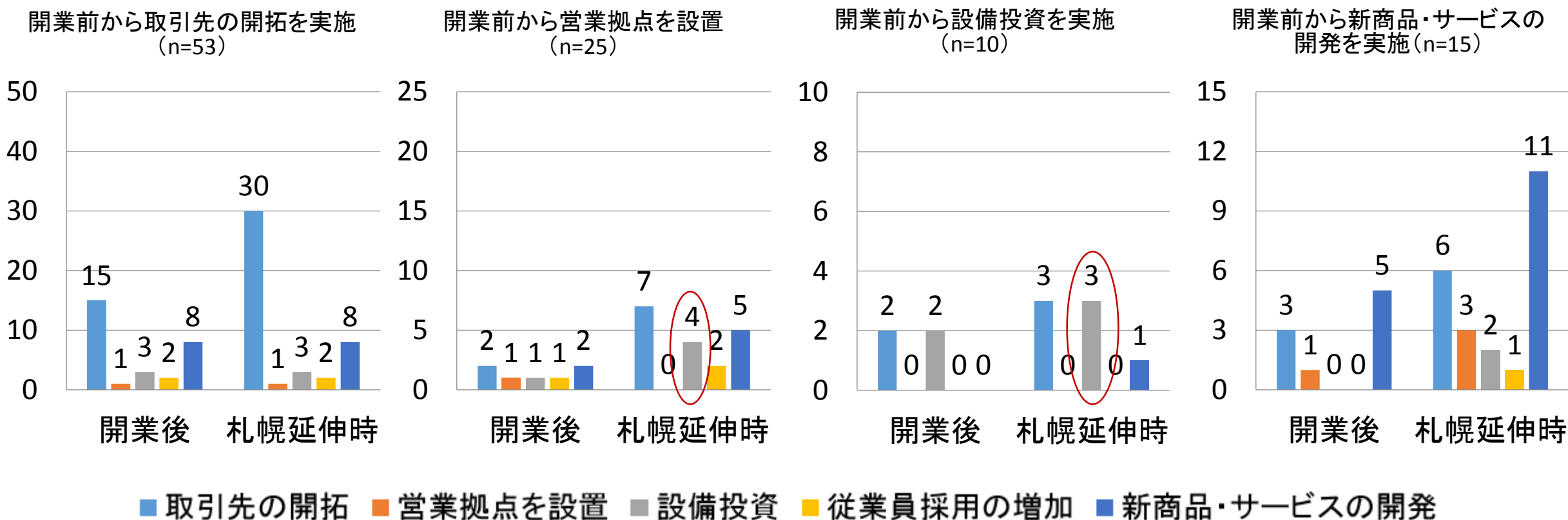
- ◆「特にない」を除けば、各時点で「情報収集・市場調査」「取引先の開拓」と回答した企業が多いが、それ以外の対応・取組は多くなかった。
- ◆ 開業前や札幌延伸時には「取引先の開拓」と回答した企業が多く、新幹線延伸を機に具体的なビジネスにつなげようとする意思もうかがえる。



Q8(開業後)・Q17(札幌延伸時)

北海道新幹線開業後及び札幌延伸時の新たな対応・取組の広がり(複数回答)

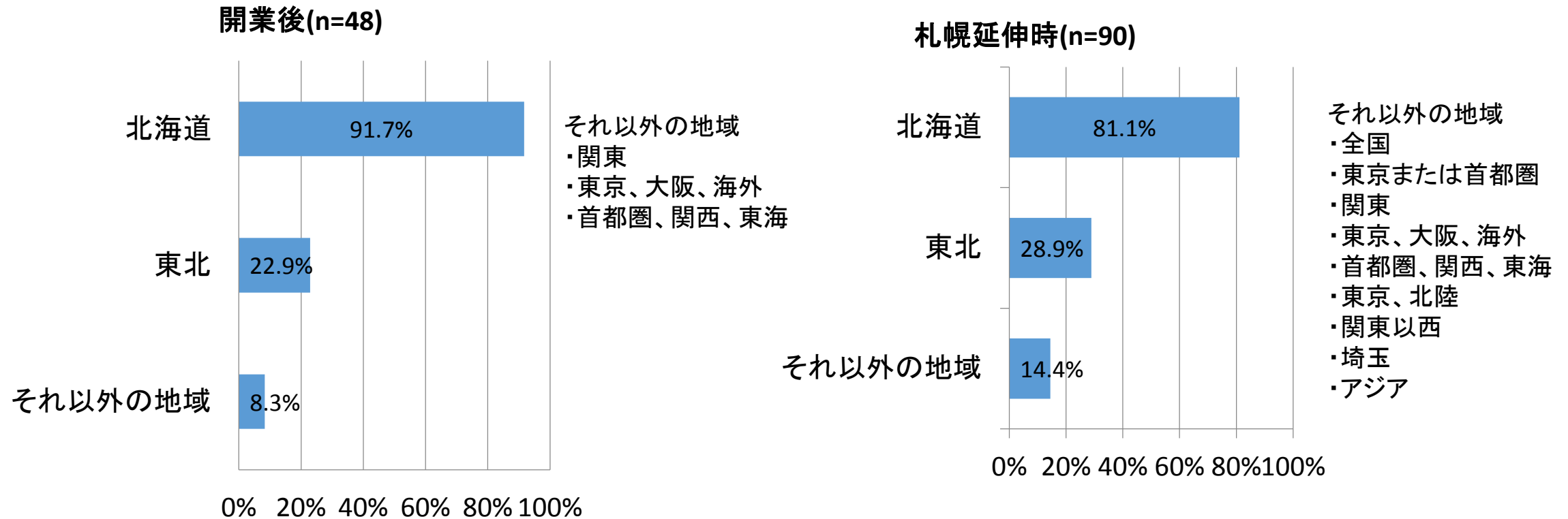
- ◆ 開業前から新たな対応・取組を実施している企業は、札幌延伸時に向けて新たな対応・取組を強化する方向にある。
- ◆ ただし、開業前から設備投資を実施している企業以外は、「取引先の開拓」「新商品・サービスの開発」と回答した企業が多く、状況の変化を見極めようとしていることがうかがえる。



Q9(開業後)・Q18(札幌延伸時)

北海道新幹線開業後及び札幌延伸時に新たな対応・取組を行った(行うと考えられる)地域
(北海道企業:複数回答)

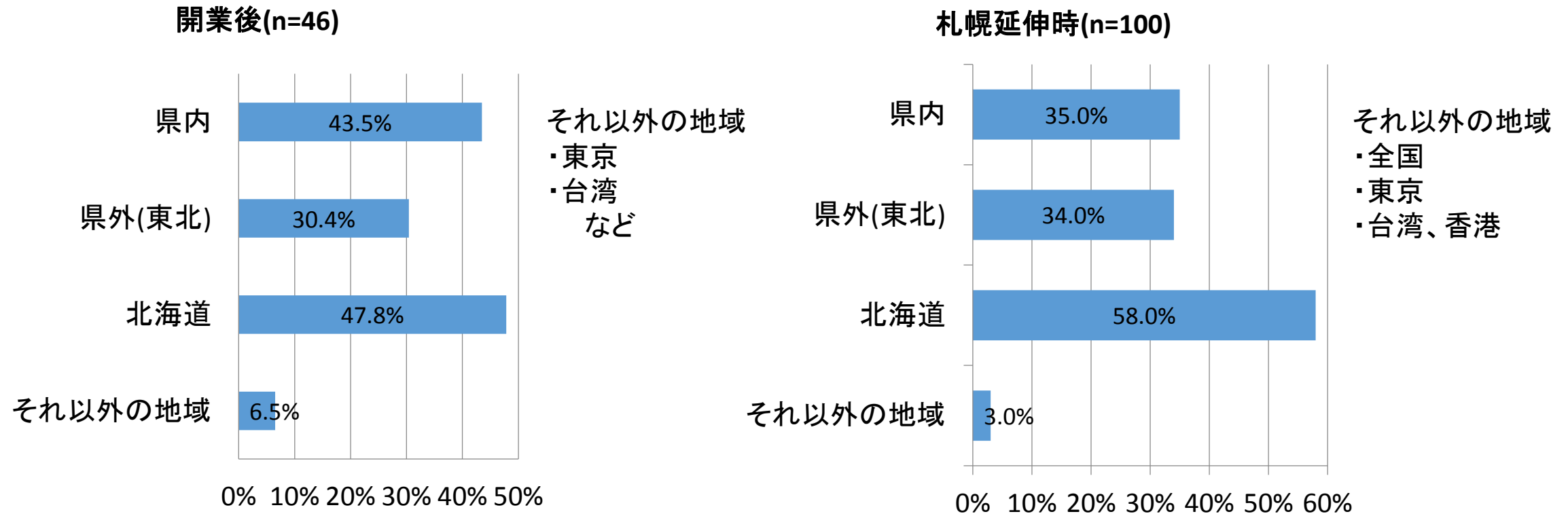
◆ 開業後、札幌延伸時とも道内で新たな対応・取組との回答が多いが、**札幌延伸時には道外での対応・取組を行うとの回答割合が増えており、今後、具体的なビジネスにつなげようとする意思もうかがえる。**



Q9(開業後)・Q18(札幌延伸時)

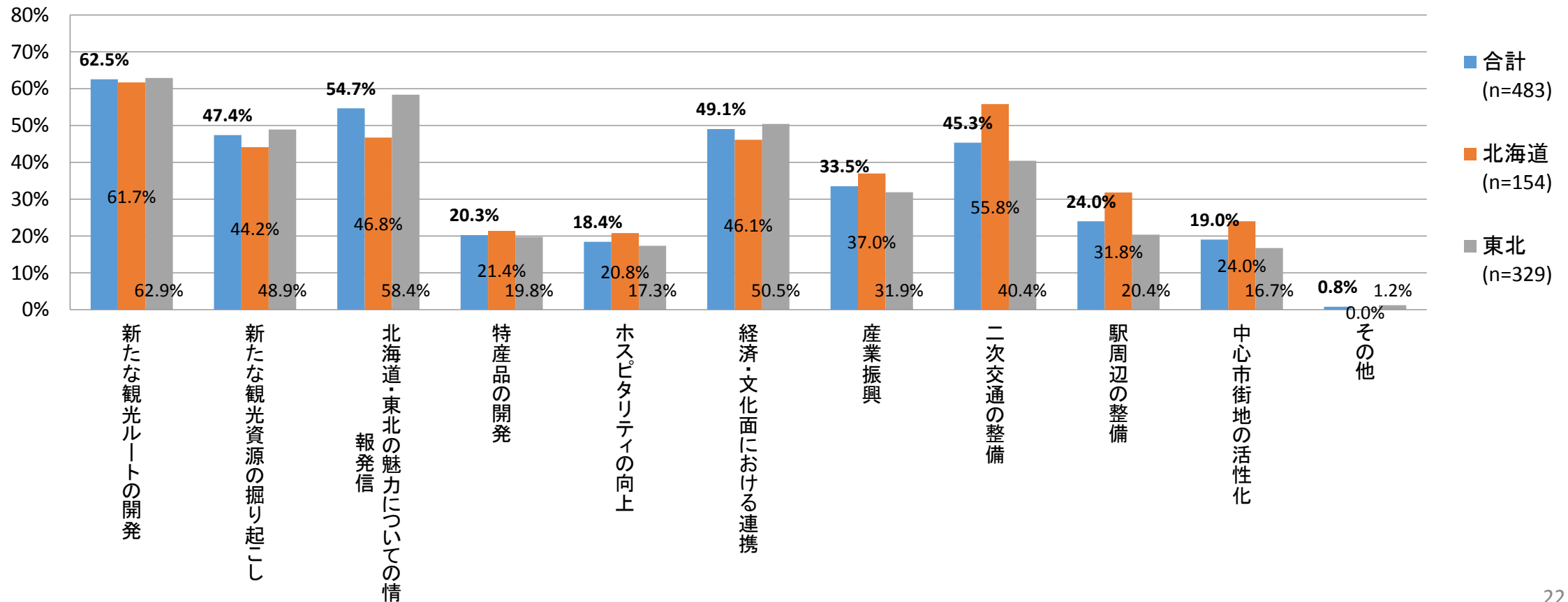
北海道新幹線開業後及び札幌延伸時に新たな対応・取組を行った(行うと考えられる)地域
(東北企業:複数回答)

◆ 開業後、札幌延伸時とも東北圏内で新たな対応・取組との回答が多いが、**札幌延伸時には北海道での対応・取組を行うとの回答割合が増えており、今後、北海道で具体的なビジネスにつなげようとする意思もうかがえる。**



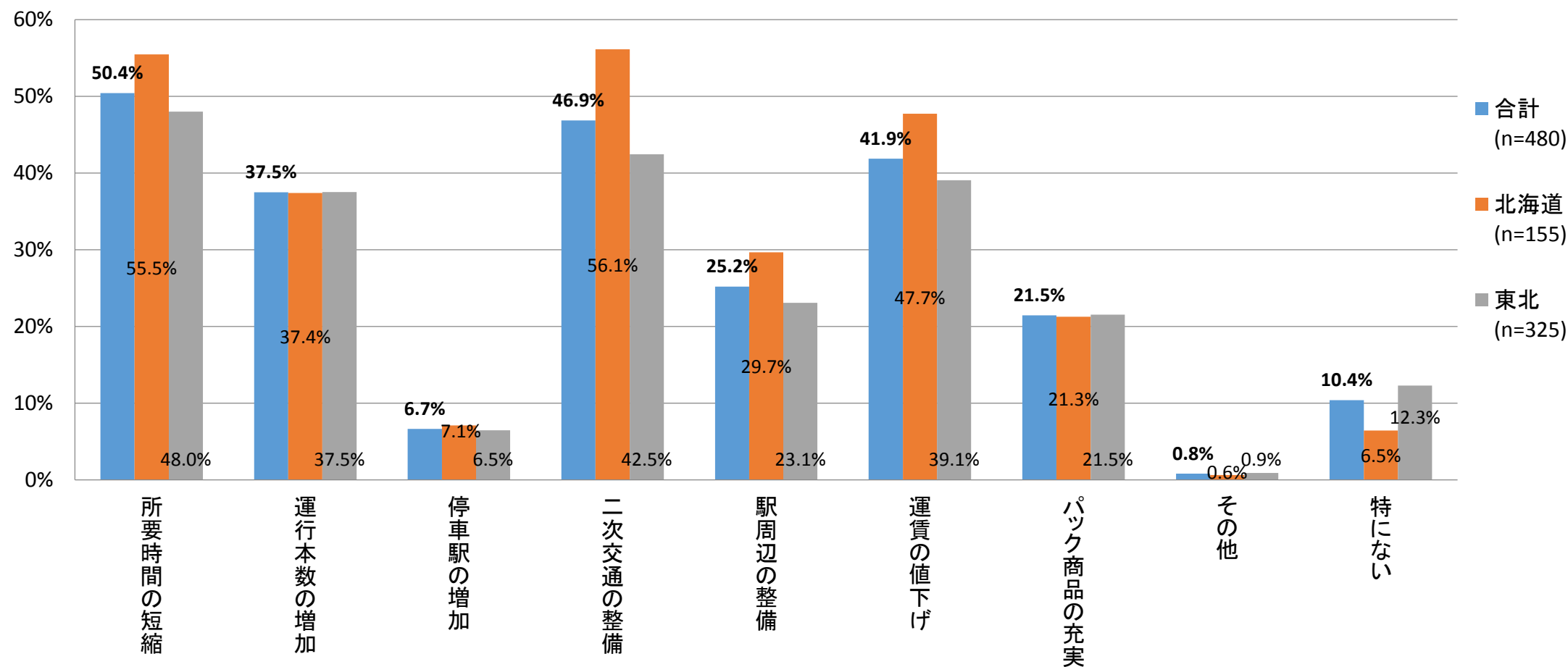
Q10. 北海道新幹線開業を契機に北海道・東北が連携して両地域の発展のために取り組むべきこと(複数回答)

- ◆ 「新たな観光ルートの開発」「北海道・東北の魅力についての情報発信」「経済・文化面における連携」と回答した企業が多く、観光に加え、北海道と東北間における多様な相乗効果への期待がうかがえる。
- ◆ 北海道企業は「新たな観光ルートの開発」「二次交通の整備」と回答した企業が多く、道内各地への周遊環境整備が必要と考えている。
- ◆ 東北企業は「新たな観光ルートの開発」や「北海道・東北の魅力についての情報発信」「経済・文化面における連携」と回答した企業が多く、北海道と東北が一体となって相乗効果を生みだすことが重要と考えている。



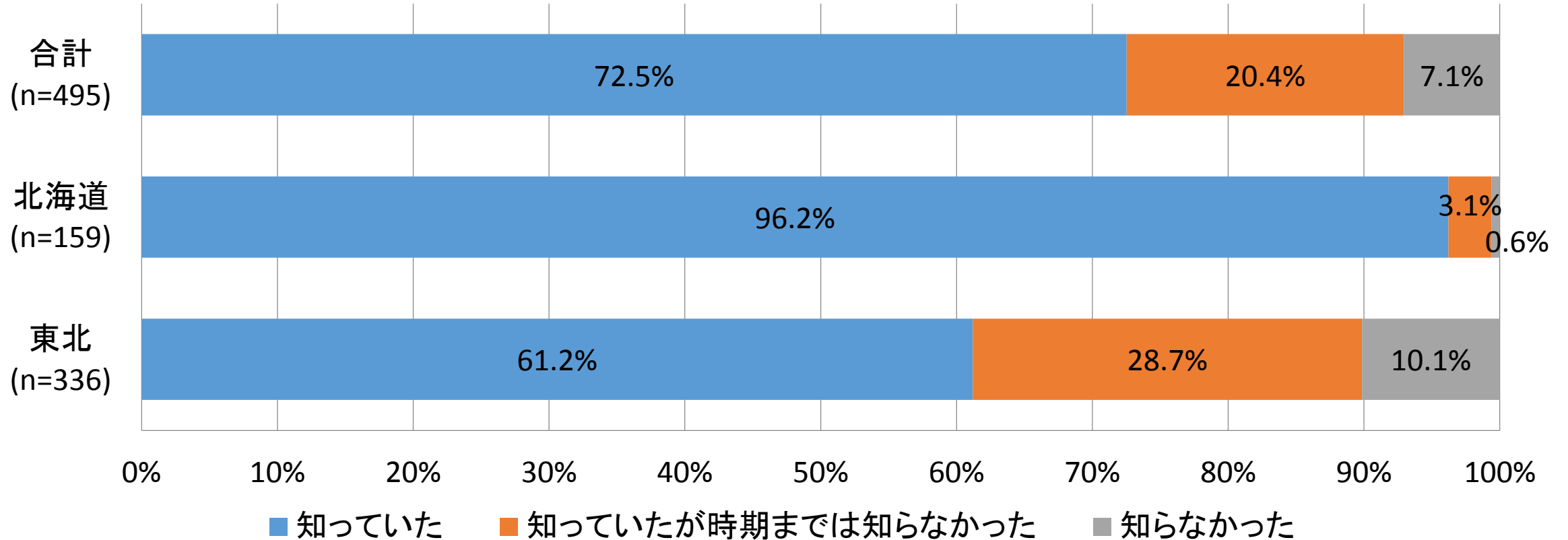
Q11. 北海道新幹線の利便性向上のために期待すること(複数回答)

◆「所要時間の短縮」「二次交通の整備」「運賃の値下げ」と回答した企業が多く、北海道新幹線の時間短縮や割高感解消、交通網整備への期待感がうかがえる。



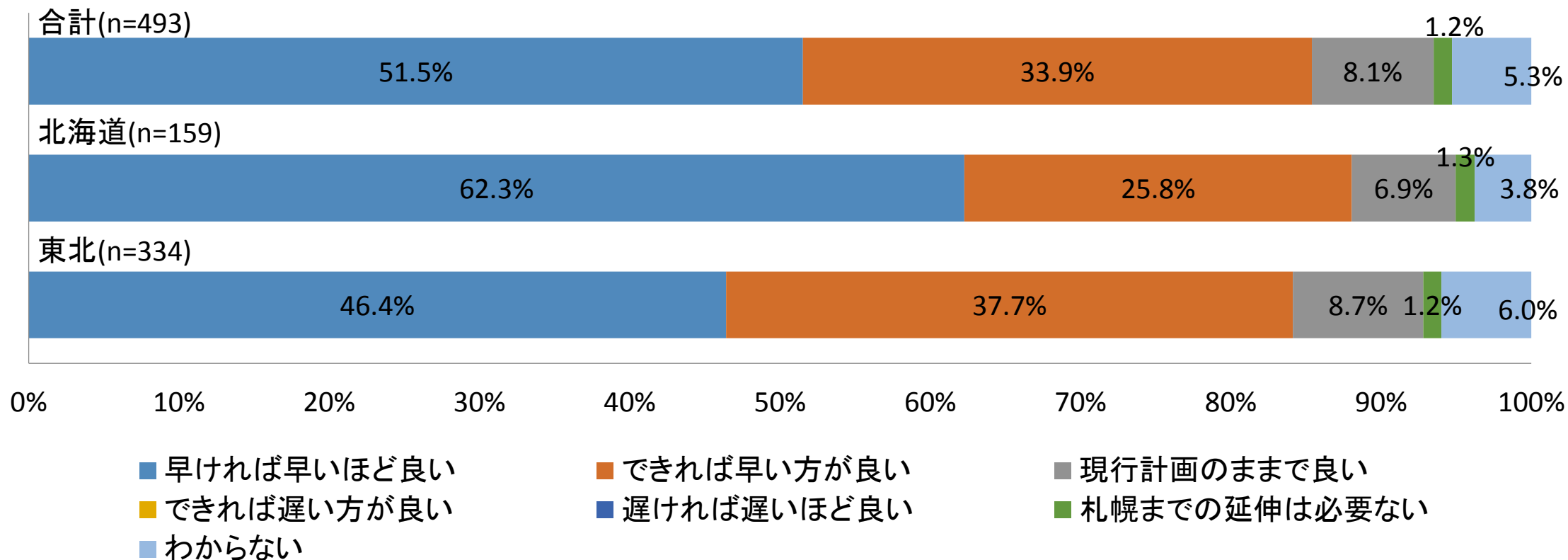
Q12. 北海道新幹線札幌延伸計画時期の認知度

◆ 北海道企業は延伸時期の認知度がほぼ100%であったのに対して、東北企業は約60%となっており、**北海道企業の関心の高さが明らかになった。**



Q13. 北海道新幹線の札幌延伸時期について

◆「早ければ早いほど良い」「できれば早い方が良い」と回答している企業が8割を超えている。
特に北海道企業は「早ければ早いほど良い」との回答割合が東北企業に比べて高く、札幌延伸の早期実現に対する期待がうかがえる。



Q19.北海道新幹線開業後に起きた思わぬ展開(プラスの影響)、その他、北海道新幹線に対するご意見・ご要望等(北海道企業)

- ◆ 交通アクセスの向上を評価する意見がある一方で、札幌・函館のパックツアー値上がりに関する指摘があった。
- ◆ ニセコ(倶知安)までの早期開業、新千歳空港への延伸を求める意見もあった。

	所在地	業種	回答
プラスの影響	道央	製造業	各地方都市への交通アクセスが便利になった。
	道南	商業	盛岡・仙台に近い。
マイナスの影響	道央	飲食・宿泊業	札幌・函館パックツアー値上がり。
期待すること	道央	建設	交通の利便性向上でオリンピック等のイベントの招致がしやすく、開催しやすくなる。札幌新幹線駅周辺の再開発。
	道央	建設	北関東からの人口流動が多くなり、北海道への進学、就労等が増加。
	道央	金融・保険	新幹線が札幌に延伸すれば札幌～東京の人の移動が飛行機から新幹線にと劇的に増えると思う。
	道央	運輸	今回の開業効果は、函館地域のみ大きく道央圏への拡大はそれほど大きくない状況であるが、札幌延伸時には道央圏で大きな効果が期待できることでもあるので、函館の状況をしっかり分析し、札幌延伸時の対応に備えたい。
課題	道央	金融・保険	利用客の伸び悩みに対する懸念。
	釧路・根室	建設	札幌から地方都市への交通網が整備されなければ恩恵があまりない。
その他	道央	商業	新千歳空港への延伸を切望。
	道央	運輸	札幌駅を待たずニセコまでの開業を早めることができないか検討して欲しい。
	釧路・根室	運輸	JR貨物の動向を注視する。

Q19. 北海道新幹線開業後に起きた思わぬ展開(プラスの影響)、その他、北海道新幹線に対するご意見・ご要望等(東北企業)

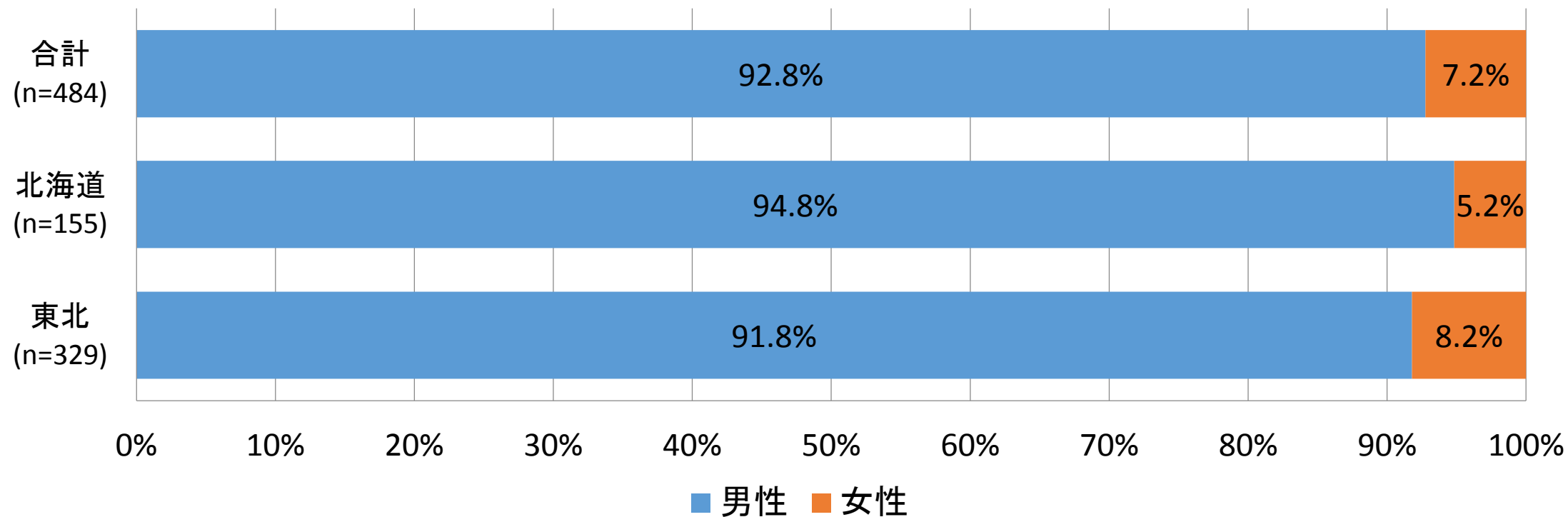
- ◆ 工場見学者の増加、工事の受注等、プラスの影響に関する具体的な言及があった。
- ◆ 北海道と東北との観光ルート設定に対する期待も寄せられたほか、北海道新幹線の福島県への停車、東北と連携した冬季オリンピック開催を求める意見もあった。

	所在地	業種	回答
プラスの影響	宮城県	製造業	函館に所在する工場の見学者の増加。
	宮城県	建設	青森県の得意先から新幹線開業に関連する施設改修工事の依頼があった。
	宮城県	建設	函館からの外国人旅行者の東北地域への移動増大。
	宮城県	商業	各種イベントで北海道へ行く機会が増えた。
	宮城県	商業	取引先(接客娯楽業関連)で、お客様が若干、増加傾向にあるようで、それに伴い社有車の検討も併せて発生。
	宮城県	飲食・宿泊業	交流人口は増えていると思う。
	山形県	金融・保険	お客様旅行の企画とともに新しい食材のチャンスを得た。見聞も広がった。
マイナスの影響	宮城県	製造業	新幹線はやぶさが予約しにくくなった。
	宮城県	商業	仙台から函館、青森方面の切符が取りにくくなった。
期待すること	岩手県	飲食・宿泊業	今後、延伸により北海道と東北の新しい観光ルートを造成できる。7道県の知事と経済界の代表者が一緒に観光誘致の先頭に立って活動して欲しい。
	宮城県	製造業	新たな需要掘り起こしが期待できる。
	宮城県	飲食・宿泊業	海外のお客様が利用しやすい東北ならではのJRチケット等の充実、プロモーションをして欲しい。
	宮城県	その他のサービス業	新幹線が北海道までつながり、東北と北海道の心理的な距離は縮まった。東北→北海道や北海道→東北の観光ルートを設定にして、交流人口を増やすことが大切。
	宮城県	その他のサービス業	航空機利用も含めた交流人口の飛躍的拡大。
	福島県	商業	本数は少なくともよいので福島県への停車を。
	福島県	金融・保険	福島から乗り換えなしの運行を検討して欲しい。JR九州のような企画旅行、東北～北海道間のリゾート列車のような観光ルートを開発して欲しい。
	新潟県	建設	札幌まで延伸されれば飛行機(新千歳)利用を含めた周遊に期待ができるようになると思う。
課題	宮城県	製造業	雪の影響によりダイヤの乱れが頻発しないか心配。
	宮城県	建設	仙台の場合、トータル時間では新幹線と飛行機で大差ないが、飛行機の方がパック商品が多い。魅力がないと飛行機を選ぶ。
	宮城県	商業	寒冷地からの列車の到着遅れが気になる。
	宮城県	商業	札幌への延伸までに既存停車駅のますますの活性化が必要と思う。
	宮城県	その他のサービス業	新函館北斗駅が市街地から遠いので函館観光に利用する気にならない。
	山形県	製造業	東北を素通りしないような魅力のある地域にすることが重要。
	新潟県	建設	運行ダイヤの充実。
その他	宮城県	製造業	当社は現在、北海道地区は東京で管理しており、北海道新幹線開業後も変わっていない。
	宮城県	その他のサービス業	冬季オリンピックは2030年に東北との連携(フィギュアは仙台、滑降は安比、雪石など)で進めればよいと思う。
	宮城県	その他のサービス業	2026年に立候補する冬季オリンピックを2030年に繰り延べ、東北との連携を図って欲しい。
	山形県	その他のサービス業	トンネル内でのインターネット接続を望む。
	新潟県	製造業	東北新幹線から離れている新潟県ではビジネス上の波及効果があるか疑問。

旅行に関するアンケート

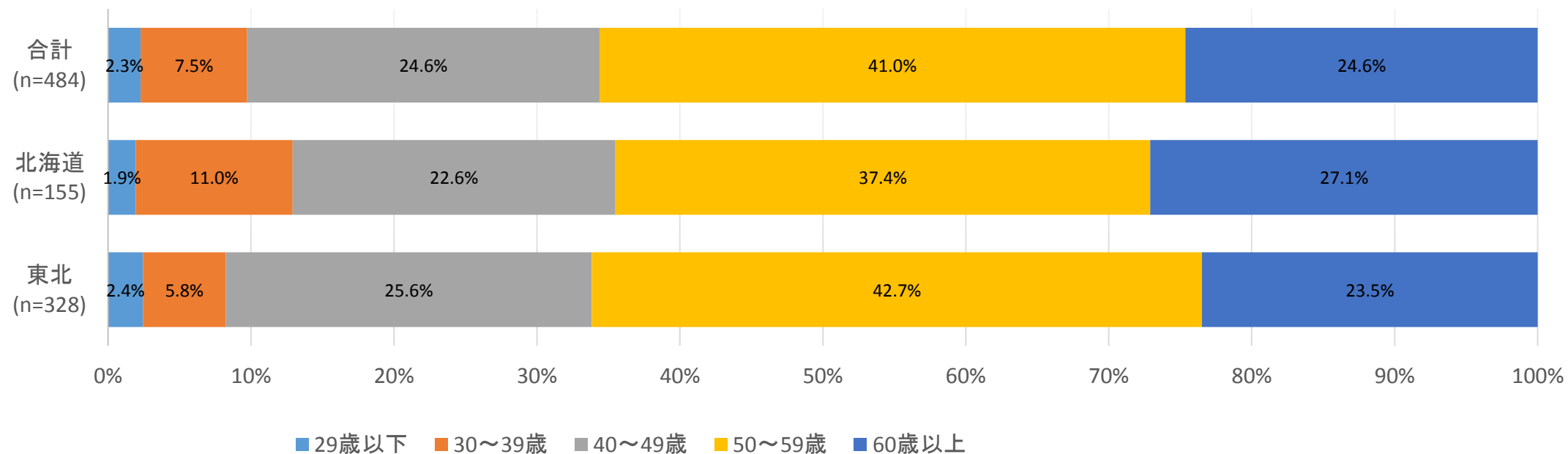
Q20. 回答者の性別

◆ 両地域とも男性が9割を超えている。



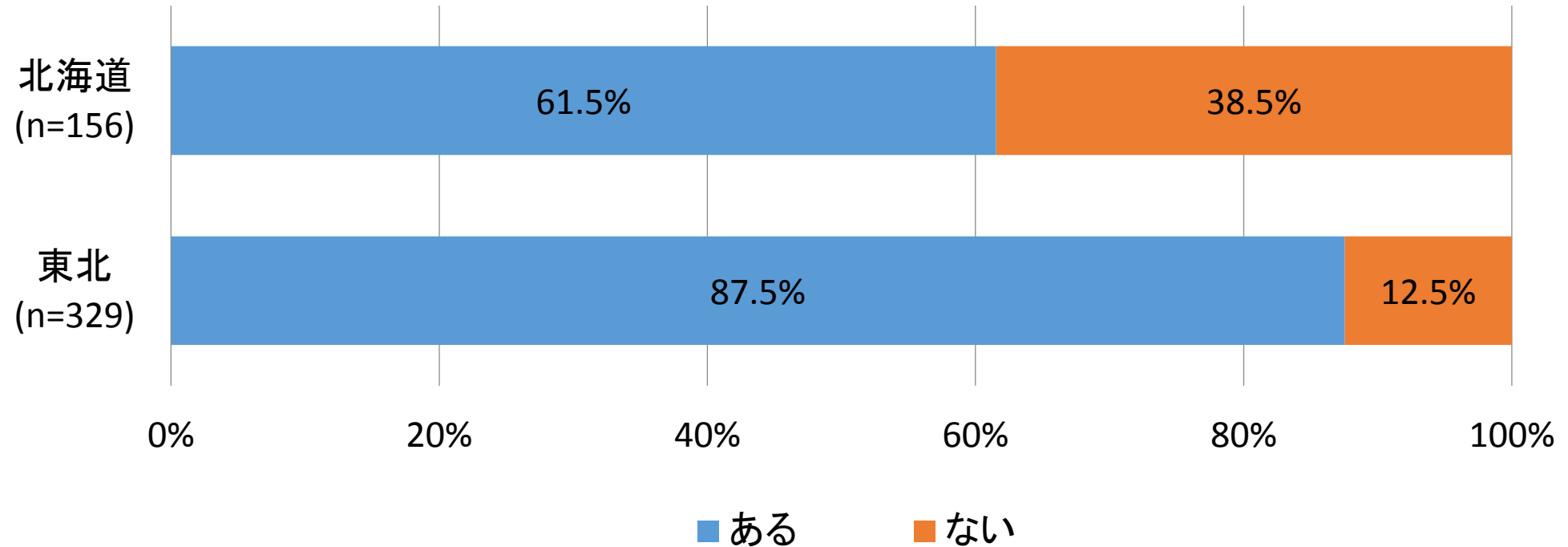
Q21. 回答者の年齢

◆ 両地域とも50～59歳の割合が高い。



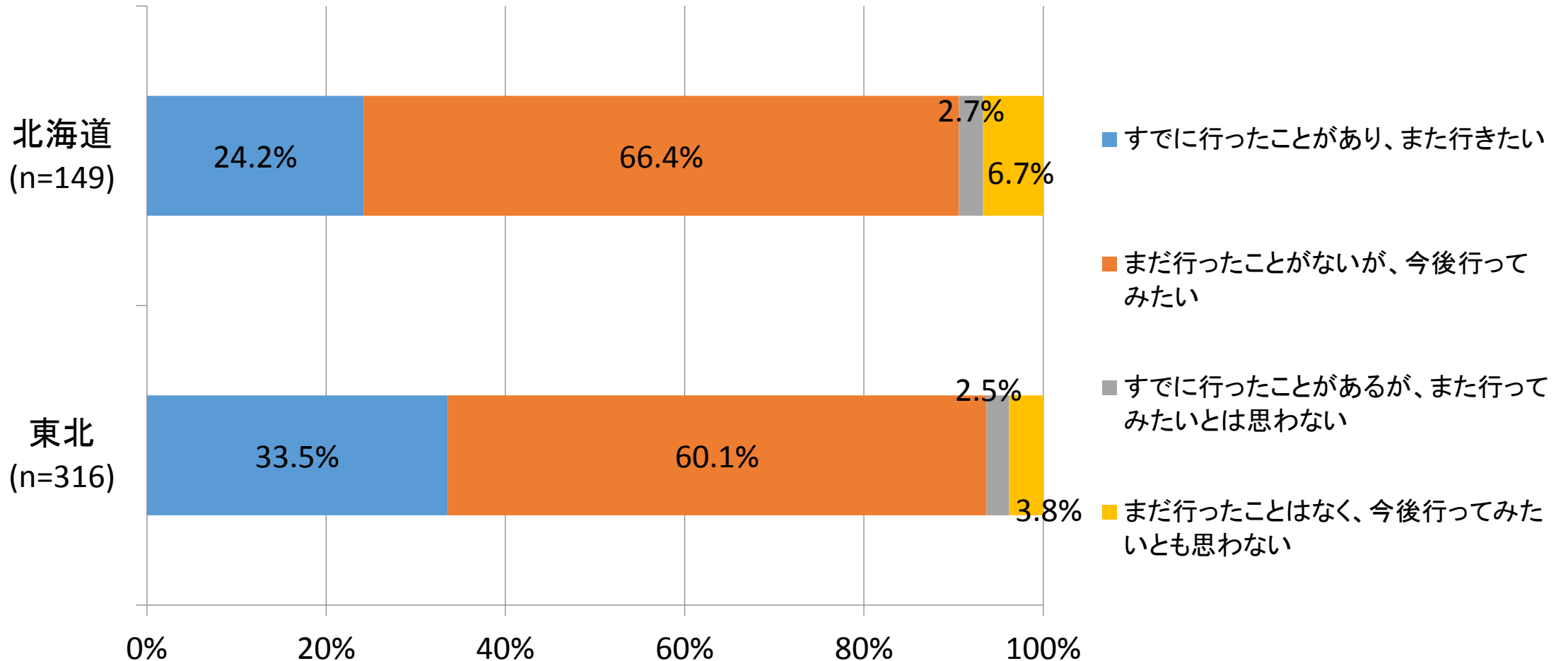
Q22. 北海道新幹線開業前の観光旅行経験（北海道→東北、東北→北海道）

◆ 東北の方が北海道へ観光旅行に行ったことがあるとの回答割合が高い。



Q24. 北海道新幹線を利用した観光旅行

◆ 両地域とも「まだ行ったことがないが、今後行ってみたい」との回答割合が高い。

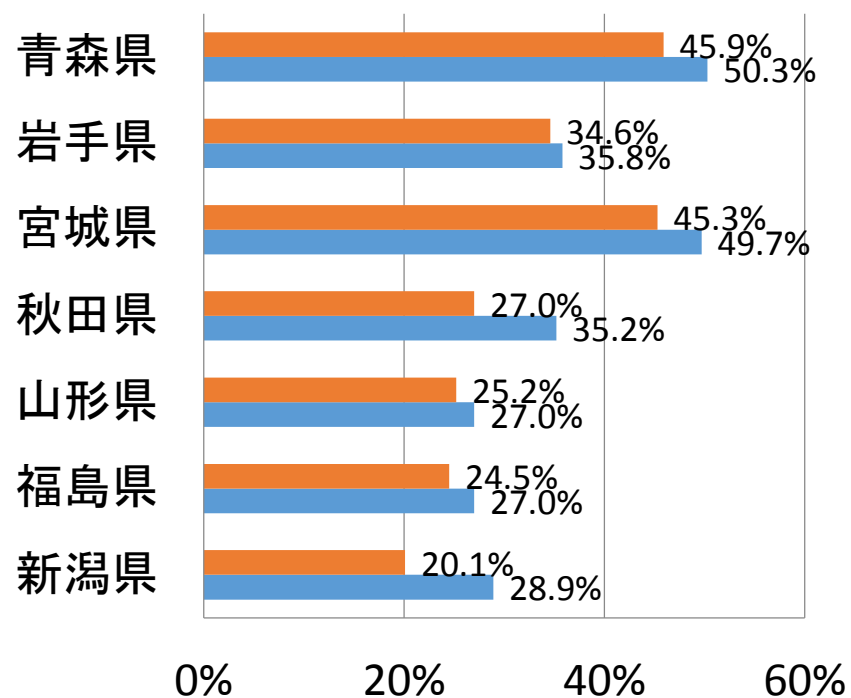


Q23(開業前)・Q25(開業後)

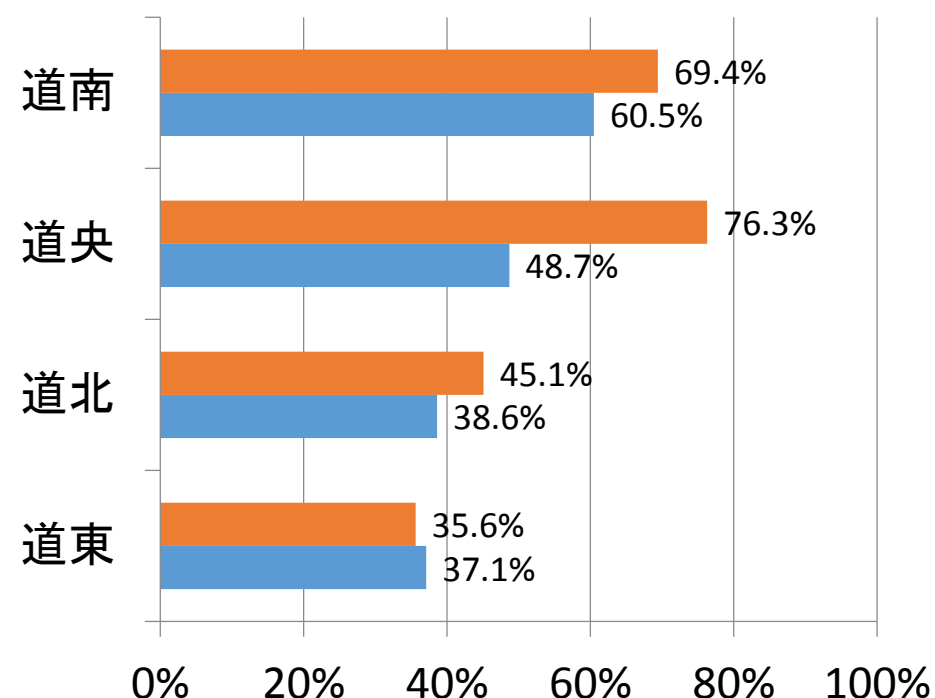
北海道新幹線開業前に行った地域及び開業後に行った(行ってみたい)地域(複数回答)

◆ 北海道は開業前後とも青森県、宮城県、東北は開業前は道央、開業後は道南との回答が多い。

北海道
(開業前n=96、開業後n=134)



東北
(開業前n=287、開業後n=301)



【アンケート調査票】(北海道経済連合会会員企業あて)

◆貴事業所についてお尋ねします。

貴事業所の形態について当てはまるものをお選びください

①本社・本店 ②支社・支店・営業所等 ③個人 ④その他()

貴事業所の所在地について当てはまるものをお選びください

①道央(石狩、空知、後志、胆振、日高) ②道南(渡島、檜山) ③道北(上川、留萌、宗谷) ④オホーツク(網走、北見、紋別) ⑤十勝
⑥釧路・根室

貴事業所の従業員数(パート含む全社員)について当てはまるものをお選びください

①1～50名 ②51～100名 ③101～300名 ④301名以上

貴事業所の業種について当てはまるものをお選びください

(2種類以上ある場合は主たる事業を一つだけお選びください)

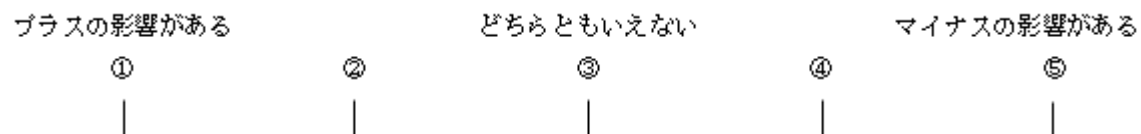
①農林水産業 ②鉱業 ③製造業 ④建設 ⑤電力・ガス・水道 ⑥商業 ⑦金融・保険 ⑧不動産 ⑨運輸 ⑩情報通信 ⑪飲食・宿泊業
⑫その他のサービス業 ⑬その他()

貴事業所の取引先地域について当てはまるものを全てお選びください

①道央(石狩、空知、後志、胆振、日高) ②道南(渡島、檜山) ③道北(上川、留萌、宗谷) ④オホーツク(網走、北見、紋別) ⑤十勝
⑥釧路・根室 ⑦道外() ⑧海外

◆Q1～Q4は北海道新幹線開業前における貴事業所の状況についてお尋ねします

Q1. 北海道新幹線開業前(今から1年ほど前)、北海道新幹線開業による貴事業所への影響についてどのようにお考えでしたか。当てはまるものをお選びください



Q2. プラスの影響として貴事業所がお考えになっていたことについて当てはまるものを全てお選びください

①東北との商取引の増加 ②ビジネス客の増加 ③観光客の増加 ④定住人口の増加 ⑤企業の道内移転 ⑥公共事業の増加
⑦民間投資の増加 ⑧交通利便性の向上 ⑨その他() ⑩特にない

Q3. マイナスの影響として貴事業所がお考えになっていたことについて当てはまるものを全てお選びください

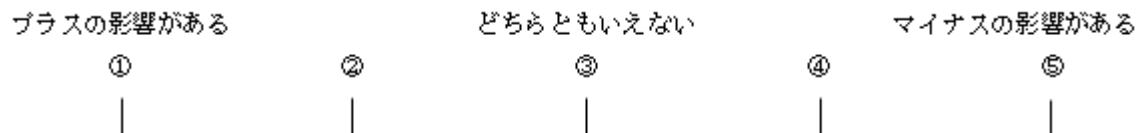
①企業間競争の激化 ②ビジネス客の減少 ③観光客の減少 ④定住人口の減少 ⑤企業の道外移転 ⑥公共事業の減少
⑦民間投資の減少 ⑧交通利便性の低下 ⑨その他() ⑩特にない

Q4. 北海道新幹線開業前(今から1年ほど前)、貴社あるいは貴事業所が東北で行っていた事業・取組について当てはまるものを全てお選びください

①情報収集・市場調査 ②取引先の開拓 ③営業拠点の設置 ④設備投資 ⑤新商品・サービスの開発 ⑥従業員の採用
⑦その他() ⑧特にない

◆Q5～Q9は北海道新幹線開業後における貴事業所の状況についてお尋ねします

Q5. 北海道新幹線開業後である現在、北海道新幹線開業による貴事業所への影響についてどのようにお考えですか。当てはまるものをお選びください



Q6. プラスの影響として貴事業所がお考えになっていることについて当てはまるものを全てお選びください

①東北との商取引の増加 ②ビジネス客の増加 ③観光客の増加 ④定住人口の増加 ⑤企業の道内移転 ⑥公共事業の増加
⑦民間投資の増加 ⑧交通利便性の向上 ⑨その他() ⑩特にない

Q7. マイナスの影響として貴事業所がお考えになっていることについて当てはまるものを全てお選びください

①企業間競争の激化 ②ビジネス客の減少 ③観光客の減少 ④定住人口の減少 ⑤企業の道外移転 ⑥公共事業の減少
⑦民間投資の減少 ⑧交通利便性の低下 ⑨その他() ⑩特にない

Q8. 北海道新幹線開業に伴い、貴社あるいは貴事業所が行った新たな対応・取組強化があれば当てはまるものを全てお選びください

①情報収集・市場調査 ②新規取引先の開拓 ③新たな営業拠点の設置 ④設備投資 ⑤従業員採用の増加 ⑥新商品・サービスの開発
⑦その他() ⑧特にない

→⑧以外の選択肢を回答した方はQ9へ、⑧を回答した方はQ10へ

※次の設問はQ8で⑧以外の選択肢を回答した方にお尋ねします

Q9. 貴社あるいは貴事業所では、どの地域で北海道新幹線開業に伴う新たな対応・取組強化を行いましたか。当てはまるものを全てお選びください

①北海道 ②東北 ③それ以外の地域()

→次にQ10へお進みください

◆Q10～Q11は、北海道新幹線開業に伴い期待することについてお尋ねします

Q10. 北海道新幹線開業を契機に、今後、北海道・東北が連携して両地域の発展のためにどのようなことに取り組むべきだとお考えになりますか。当てはまるものを全てお選びください

- ①新たな観光ルートの開発 ②新たな観光資源の掘り起こし ③北海道・東北の魅力についての情報発信 ④特産品の開発
⑤ホスピタリティ(もてなし)の向上 ⑥経済・文化面における連携 ⑦産業振興 ⑧二次交通の整備 ⑨駅周辺の整備
⑩中心市街地の活性化 ⑪その他()

Q11. 今後、北海道新幹線の利便性向上のために期待することはありますか。当てはまるものを全てお選びください

- ①所要時間の短縮 ②運行本数の増加 ③停車駅の増加 ④二次交通の整備 ⑤駅周辺の整備 ⑥運賃の値下げ ⑦パック商品の充実
⑧その他() ⑨特にない

◆Q12～13は北海道新幹線の札幌延伸についてお尋ねします

Q12. 北海道新幹線が15年後(2030年度)に札幌まで延伸される計画であることをご存知でしたか。当てはまるものをお選びください

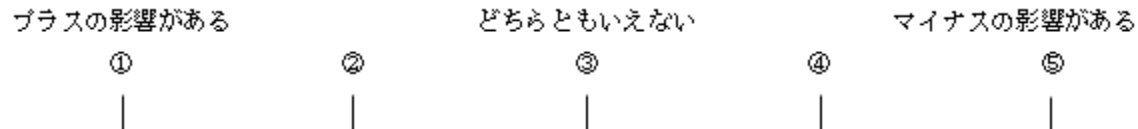
- ①知っていた ②知っていたが時期までは知らなかった ③知らなかった

Q13. 北海道新幹線が札幌まで延伸される時期についてどのようにお考えですか。当てはまるものをお選びください

- ①早ければ早いほど良い ②できれば早い方が良い ③現行計画のままで良い ④できれば遅い方が良い ⑤遅ければ遅いほど良い
⑥札幌までの延伸は必要ない ⑦わからない

◆Q14～Q18は北海道新幹線が札幌まで延伸された場合の貴事業所への影響についてお尋ねします

Q14. 北海道新幹線が札幌まで延伸された場合の貴事業所への影響についてどのようにお考えですか。当てはまるものをお選びください



Q15. プラスの影響として貴事業所がお考えになっていることについて当てはまるものを全てお選びください

- ①東北との商取引の増加 ②ビジネス客の増加 ③観光客の増加 ④定住人口の増加 ⑤企業の道内移転 ⑥公共事業の増加
⑦民間投資の増加 ⑧交通利便性の向上 ⑨その他() ⑩特にない

Q16. マイナスの影響として貴事業所がお考えになっていることについて当てはまるものを全てお選びください

- ①企業間競争の激化 ②ビジネス客の減少 ③観光客の減少 ④定住人口の減少 ⑤企業の道外移転 ⑥公共事業の減少
⑦民間投資の減少 ⑧交通利便性の低下 ⑨その他() ⑩特にない

Q17. 北海道新幹線が札幌まで延伸された場合に貴社あるいは貴事業所が行うであろう新たな対応・取組強化について当てはまるものを全てお選びください

- ①情報収集・市場調査 ②新規取引先の開拓 ③新たな営業拠点を設置 ④設備投資 ⑤従業員採用の増加 ⑥新商品・サービスの開発
⑦その他() ⑧特にない

→⑧以外の選択肢を回答した方はQ18へ、⑧と回答した方はQ19へ、

※次の設問はQ17で⑧以外の選択肢を回答した方にお尋ねします

Q18. 北海道新幹線が札幌まで延伸された場合に貴社あるいは貴事業所ではどの地域で新たな対応・取組強化を行うと考えられますか。当てはまるものを全てお選びください

- ①北海道 ②東北 ③それ以外の地域()

→次にQ19へお進みください

Q19. 北海道新幹線開業後に起きた思わぬ展開(プラスの影響)、その他、北海道新幹線に対するご意見・ご要望等がありましたら、自由にご記入ください

◆Q20～Q25は、北海道新幹線を利用した東北旅行についてお尋ねします

以下、ご回答者様ご自身についてお尋ねします

Q20. 性別

①男性 ②女性

Q21. 年齢

①29歳以下 ②30～39歳 ③40～49歳 ④50～59歳 ⑤60歳以上

Q22. 北海道新幹線開業前に東北へ観光旅行に行ったことがありますか。当てはまるものをお選びください

①ある ②ない

→①を回答した方はQ23へ、②を回答した方はQ24へお進みください

※次の設問はQ22で①を回答した方にお尋ねします

Q23. 北海道新幹線開業前に東北観光で行った県を全てお選びください

①青森県 ②岩手県 ③宮城県 ④秋田県 ⑤山形県 ⑥福島県 ⑦新潟県

Q24. 北海道新幹線を利用した東北への観光旅行について当てはまるものをお選びください

①すでに行ったことがあります、また行きたい ②まだ行ったことはないが、今後行ってみたい

③すでに行ったことはあるが、また行きたいとは思わない ④まだ行ったことはなく、今後行ってみたいとは思わない

→①、②、③のいずれかを回答した方はQ25へ

※次の設問はQ24で①、②、③のいずれかを回答した方にお尋ねします

Q25. 北海道新幹線を利用した東北観光で行った(行ってみたい)県を全てお選びください

①青森県 ②岩手県 ③宮城県 ④秋田県 ⑤山形県 ⑥福島県 ⑦新潟県

【アンケート調査票】(東北経済連合会会員企業あて)

◆貴事業所についてお尋ねします。

貴事業所の形態について当てはまるものをお選びください

①本社・本店 ②支社・支店・営業所等 ③個人 ④その他()

貴事業所の所在地について当てはまるものをお選びください

①青森県 ②岩手県 ③宮城県 ④秋田県 ⑤山形県 ⑥福島県 ⑦新潟県

貴事業所の従業員数(パート含む全社員)について当てはまるものをお選びください

①1～50名 ②51～100名 ③101～300名 ④301名以上

貴事業所の業種について当てはまるものをお選びください

(2種類以上ある場合は主たる事業を一つだけお選びください)

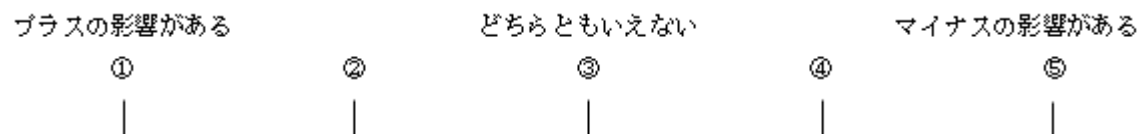
①農林水産業 ②鉱業 ③製造業 ④建設 ⑤電力・ガス・水道 ⑥商業 ⑦金融・保険 ⑧不動産 ⑨運輸 ⑩情報通信 ⑪飲食・宿泊業
⑫その他のサービス業 ⑬その他()

貴事業所の取引先地域について当てはまるものを全てお選びください

①青森県 ②岩手県 ③宮城県 ④秋田県 ⑤山形県 ⑥福島県 ⑦新潟県 ⑧県外その他() ⑧海外

◆Q1～Q4は北海道新幹線開業前における貴事業所の状況についてお尋ねします

Q1. 北海道新幹線開業前(今から1年ほど前)、北海道新幹線開業による貴事業所への影響についてどのようにお考えでしたか。当てはまるものをお選びください



Q2. プラスの影響として貴事業所がお考えになっていたことについて当てはまるものを全てお選びください

①北海道との商取引の増加 ②ビジネス客の増加 ③観光客の増加 ④定住人口の増加 ⑤企業の東北圏内への移転 ⑥公共事業の増加
⑦民間投資の増加 ⑧交通利便性の向上 ⑨その他() ⑩特にない

Q3. マイナスの影響として貴事業所がお考えになっていたことについて当てはまるものを全てお選びください

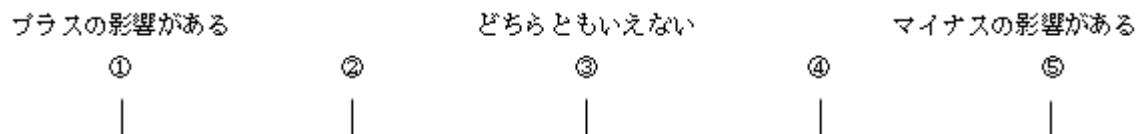
①企業間競争の激化 ②ビジネス客の減少 ③観光客の減少 ④定住人口の減少 ⑤企業の東北圏外への移転 ⑥公共事業の減少
⑦民間投資の減少 ⑧交通利便性の低下 ⑨その他() ⑩特にない

Q4. 北海道新幹線開業前(今から1年ほど前)、貴社あるいは貴事業所が北海道で行っていた事業・取組について当てはまるものを全てお選びください

①情報収集・市場調査 ②取引先の開拓 ③営業拠点の設置 ④設備投資 ⑤新商品・サービスの開発 ⑥従業員の採用
⑦その他() ⑧特になし

◆Q5～Q9は北海道新幹線開業後における貴事業所の状況についてお尋ねします

Q5. 北海道新幹線開業後である現在、北海道新幹線開業による貴事業所への影響についてどのようにお考えですか。当てはまるものをお選びください



Q6. プラスの影響として貴事業所がお考えになっていることについて当てはまるものを全てお選びください

①北海道との商取引の増加 ②ビジネス客の増加 ③観光客の増加 ④定住人口の増加 ⑤企業の東北圏内への移転 ⑥公共事業の増加
⑦民間投資の増加 ⑧交通利便性の向上 ⑨その他() ⑩特にない

Q7. マイナスの影響として貴事業所がお考えになっていることについて当てはまるものを全てお選びください

①企業間競争の激化 ②ビジネス客の減少 ③観光客の減少 ④定住人口の減少 ⑤企業の東北圏外への移転 ⑥公共事業の減少
⑦民間投資の減少 ⑧交通利便性の低下 ⑨その他() ⑩特にない

Q8. 北海道新幹線開業に伴い、貴社あるいは貴事業所が行った新たな対応・取組強化があれば当てはまるものを全てお選びください

①情報収集・市場調査 ②新規取引先の開拓 ③新たな営業拠点の設置 ④設備投資 ⑤従業員採用の増加 ⑥新商品・サービスの開発
⑦その他() ⑧特にない

→⑧以外の選択肢を回答した方はQ9へ、⑧を回答した方はQ10へ

※次の設問はQ8で⑧以外の選択肢を回答した方にお尋ねします

Q9. 貴社あるいは貴事業所では、どの地域で北海道新幹線開業に伴う新たな対応・取組強化を行いましたか。当てはまるものを全てお選びください

①県内 ②県外(東北) ③北海道 ④それ以外の地域()

→次にQ10へお進みください

◆Q10～Q11は、北海道新幹線開業に伴い期待することについてお尋ねします

Q10. 北海道新幹線開業を契機に、今後、東北・北海道が連携して両地域の発展のためにどのようなことに取り組むべきだとお考えになりますか。当てはまるものを全てお選びください

- ①新たな観光ルートの開発 ②新たな観光資源の掘り起こし ③東北・北海道の魅力についての情報発信 ④特産品の開発
⑤ホスピタリティ(もてなし)の向上 ⑥経済・文化面における連携 ⑦産業振興 ⑧二次交通の整備 ⑨駅周辺の整備
⑩中心市街地の活性化 ⑪その他()

Q11. 今後、北海道新幹線の利便性向上のために期待することはありますか。当てはまるものを全てお選びください

- ①所要時間の短縮 ②運行本数の増加 ③停車駅の増加 ④二次交通の整備 ⑤駅周辺の整備 ⑥運賃の値下げ ⑦パック商品の充実
⑧その他() ⑨特にない

◆Q12～13は北海道新幹線の札幌延伸についてお尋ねします

Q12. 北海道新幹線が15年後(2030年度)に札幌まで延伸される計画であることをご存知でしたか。当てはまるものをお選びください

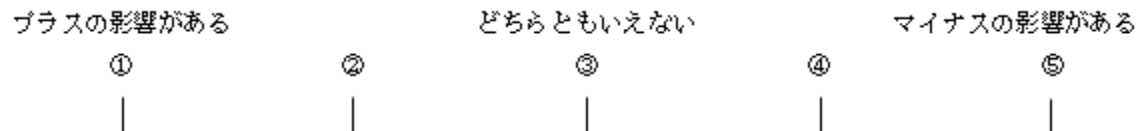
- ①知っていた ②知っていたが時期までは知らなかった ③知らなかった

Q13. 北海道新幹線が札幌まで延伸される時期についてどのようにお考えですか。当てはまるものをお選びください

- ①早ければ早いほど良い ②できれば早い方が良い ③現行計画のままで良い ④できれば遅い方が良い ⑤遅ければ遅いほど良い
⑥札幌までの延伸は必要ない ⑦わからない

◆Q14～Q18は北海道新幹線が札幌まで延伸された場合の貴事業所への影響についてお尋ねします

Q14. 北海道新幹線が札幌まで延伸された場合の貴事業所への影響についてどのようにお考えですか。当てはまるものをお選びください



Q15. プラスの影響として貴事業所がお考えになっていることについて当てはまるものを全てお選びください

- ①北海道との商取引の増加 ②ビジネス客の増加 ③観光客の増加 ④定住人口の増加 ⑤企業の東北圏内への移転 ⑥公共事業の増加
⑦民間投資の増加 ⑧交通利便性の向上 ⑨その他() ⑩特にない

Q16. マイナスの影響として貴事業所がお考えになっていることについて当てはまるものを全てお選びください

- ①企業間競争の激化 ②ビジネス客の減少 ③観光客の減少 ④定住人口の減少 ⑤企業の東北圏外への移転 ⑥公共事業の減少
⑦民間投資の減少 ⑧交通利便性の低下 ⑨その他() ⑩特にない

Q17. 北海道新幹線が札幌まで延伸された場合に貴社あるいは貴事業所が行うであろう新たな対応・取組強化について当てはまるものを全てお選びください

- ①情報収集・市場調査 ②新規取引先の開拓 ③新たな営業拠点を設置 ④設備投資 ⑤従業員採用の増加 ⑥新商品・サービスの開発
⑦その他() ⑧特にない

→⑧以外の選択肢を回答した方はQ18へ、⑧と回答した方はQ19へ、

※次の設問はQ17で⑧以外の選択肢を回答した方にお尋ねします

Q18. 北海道新幹線が札幌まで延伸された場合に貴社あるいは貴事業所ではどの地域で新たな対応・取組強化を行うと考えられますか。当てはまるものを全てお選びください

- ①県内 ②県外(東北) ③北海道 ④それ以外の地域()

→次にQ19へお進みください

Q19. 北海道新幹線開業後に起きた思わぬ展開(プラスの影響)、その他、北海道新幹線に対するご意見・ご要望等がありましたら、自由にご記入ください

◆Q20～Q25は、北海道新幹線を利用した北海道旅行についてお尋ねします

以下、ご回答者様ご自身についてお尋ねします

Q20. 性別

①男性 ②女性

Q21. 年齢

①29歳以下 ②30～39歳 ③40～49歳 ④50～59歳 ⑤60歳以上

Q22. 北海道新幹線開業前に北海道へ観光旅行に行ったことがありますか。当てはまるものをお選びください

①ある ②ない

→①を回答した方はQ23へ、②を回答した方はQ24へお進みください

※次の設問はQ22で①を回答した方にお尋ねします

Q23. 北海道新幹線開業前に北海道観光で行った県を全てお選びください

①道南(函館など) ②道央(札幌・小樽など) ③道北(旭川・富良野など) ④道東(帯広・釧路・知床など)

Q24. 北海道新幹線を利用した北海道への観光旅行について当てはまるものをお選びください

①すでに行ったことがあります、また行きたい ②まだ行ったことはないが、今後行ってみたい

③すでに行ったことはあるが、また行きたいとは思わない ④まだ行ったことはなく、今後行ってみたいとは思わない

→①、②、③のいずれかを回答した方はQ25へ

※次の設問はQ24で①、②、③のいずれかを回答した方にお尋ねします

Q25. 北海道新幹線を利用した北海道観光で行った(行ってみたい)県を全てお選びください

①道南(函館など) ②道央(札幌・小樽など) ③道北(旭川・富良野など) ④道東(帯広・釧路・知床など)

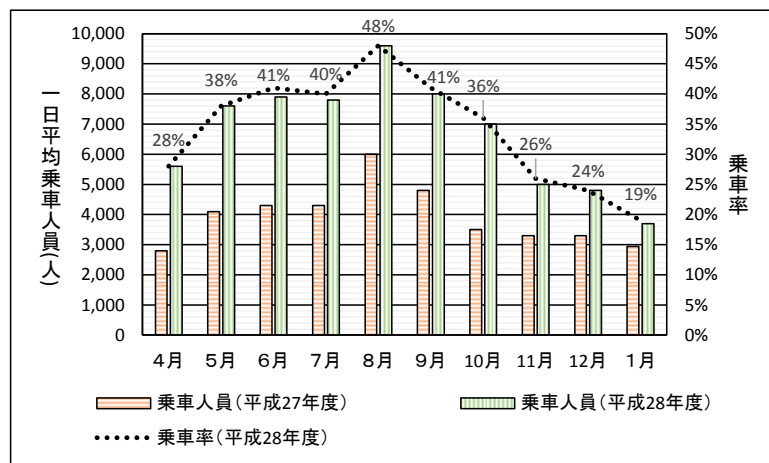
(参考)

北海道新幹線開業1年の状況

北海道新幹線の利用状況

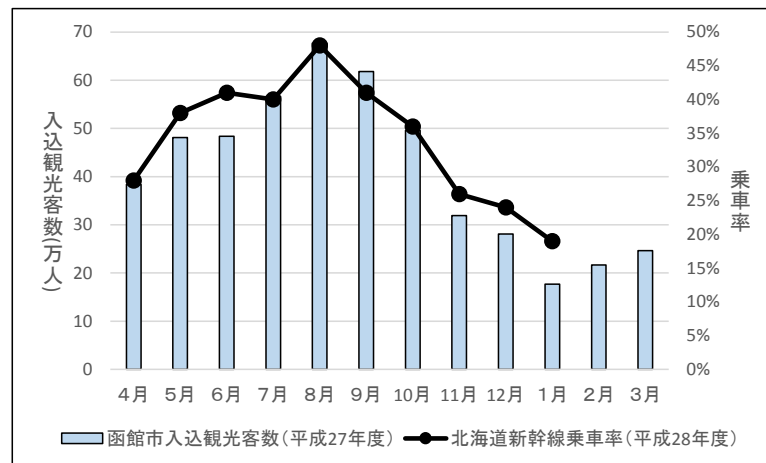
- ◆ 6月23日から7月5日が「大人の休日倶楽部パス」利用期間であったほか、7月から9月に「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」も実施され、函館市の観光シーズンの10月まで当初想定(一日平均乗車人員約5,000人/日、乗車率26%)を上回る水準で推移。
- ◆ 大雪のため新千歳空港にて2日連続で200便以上が欠航した12月23日には14,700人が乗車して一日当たり乗車人員最高を記録し、航空機の代替機能を果たした。
- ◆ 北海道新幹線の東京ー新函館北斗間が最速4時間2分の東京ー函館間では、航空旅客数も対前年比90%以上で推移。
- ◆ 東京ー金沢間が最速2時間28分で結ばれた北陸新幹線の乗車人員は当初想定(対前年比220%)を上回る状態が続いた一方で、航空旅客数が対前年比3分の2程度に減少。

北海道新幹線の日平均乗車人員及び乗車率の推移



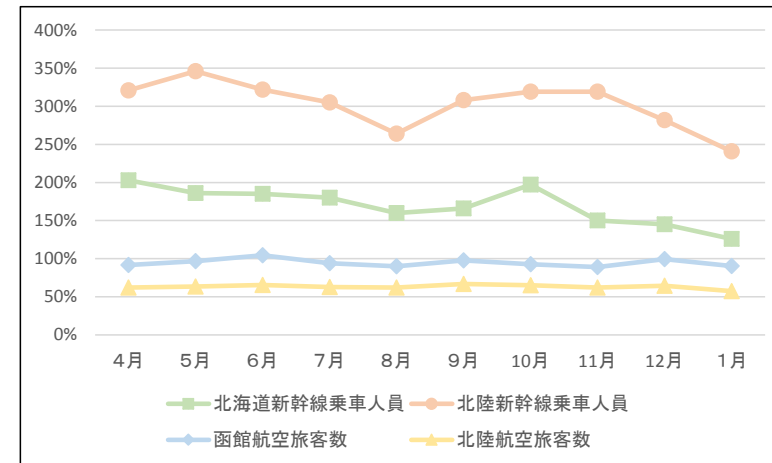
出典: 北海道旅客鉄道株式会社資料より作成

平成27年度函館市入込観光客数及び
平成28年度北海道新幹線乗車率の月別推移



出典: 北海道経済部観光局 『北海道観光入込客数調査報告書』より作成

新幹線開業1年目の新幹線・航空利用者の数の
対前年比の推移



出典: 北海道旅客鉄道株式会社資料、西日本旅客鉄道株式会社資料、「ANAグループ実績」、「JALグループマンスリーレポート」より作成

(注) 函館航空旅客数は東京ー函館(全日空・日航)、北陸航空旅客数は東京ー富山・能登(全日空)、東京ー小松(全日空・日航)の合計

函館市の観光入込客数の状況

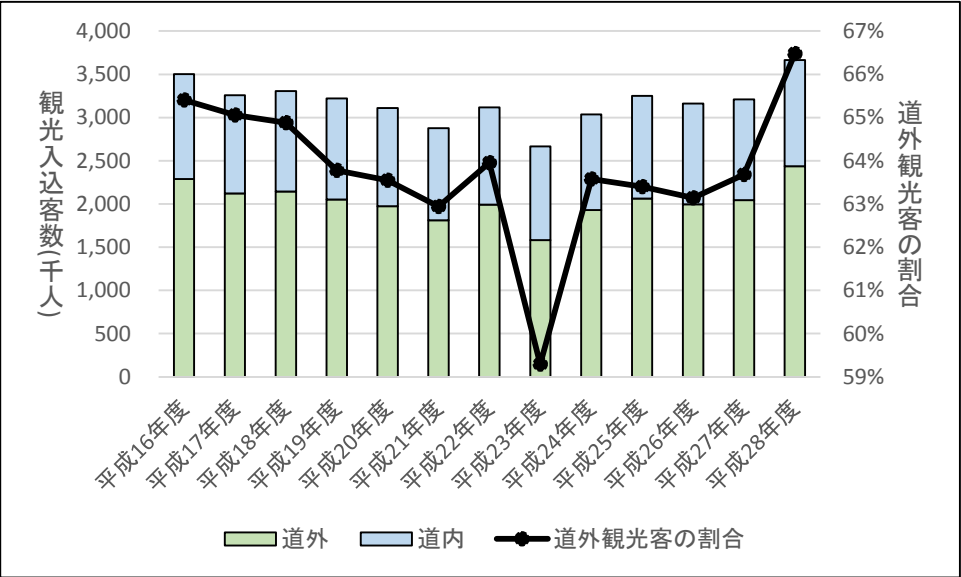
- ◆ 北海道新幹線の開業した平成28年度上期は、道外客を中心に観光入込客数が増加。
- ◆ 道外観光客数の増加に伴い宿泊客も増え、日本銀行函館支店は、函館市内の宿泊施設の実質的な収容人数の上限を上回った平成28年8月には1,462人の取りこぼしが発生したと推計。
- ◆ 函館市周辺で宿泊施設の新設、改装が続いている。

函館市周辺における宿泊施設の新設・改装の状況

所在地	宿泊施設名	オープン時期	客室数	備考
七飯町	大沼鶴雅オーベルジュ エピイ	平成28年8月	30→30	旧クロフォード・イン大沼改装
北斗市	ホテル・ラ・ジェント・プラザ函館北斗	平成29年3月予定	107	事業主体: 北斗開発
函館市	HAKODATE海峡の里	平成28年4月	100→56	湯元啄木亭東館改装
	湯の川観光ホテル祥苑	平成28年4月	204→221	新館増設
	笑函館屋	平成28年4月	18→26	旧丸仙旅館改装
	函館パークホテル	平成28年4月	40→70	新館増設
	ホテル万惣	平成28年9月	189→86	改装
	ホテルパコ函館別荘	平成29年3月プレオープン	185→185	旧スパ&カーサ函館改装
	フォーポイントバイシェラトン函館	平成29年4月予定	197→194	旧ロワジールホテル函館改装
	未定	平成29年春予定	不明	旧ホテルニューハコダテ改装
	湯の川プリンスホテル	平成30年夏予定	175→186	増改築
	函館国際ホテル	平成30年秋予定	305→475	新館増設
	函館センチュリーマリーナホテル(仮称)	平成30年秋予定	290	事業主体: 札幌国際観光
	未定	平成31年6月予定	300	函館駅前市有地整備 事業主体: 大和ハウス工業

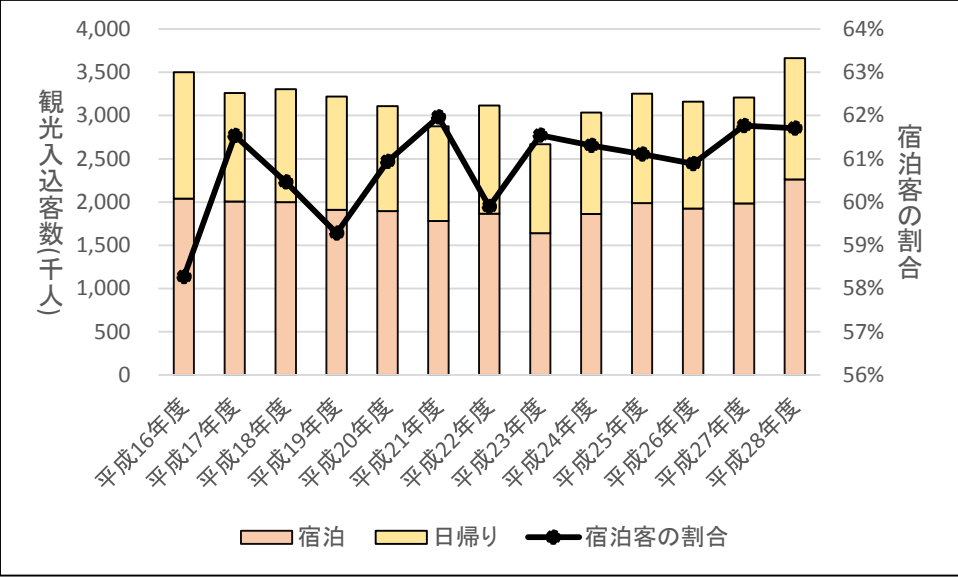
出典: 報道資料、各社ホームページ資料等より作成

各年度上期の観光入込客数の推移(道外・道内別)



出典: 函館市観光部観光企画課 『来函観光入込客数推計』より作成

各年度上期の観光入込客数の推移(宿泊・日帰り別)



出典: 函館市観光部観光企画課 『来函観光入込客数推計』より作成

函館周辺への北海道新幹線開業効果

江差追分会館
平成28年度上期入館者数
1万5,181人
(前年同期比1.5倍)

道の駅「みそぎの郷きこない」
(平成28年1月13日オープン)
オープン1年で55万人が来場

松前城資料館
平成28年度上期入館者数
4万638人
(前年同期比15%増)

大沼合同遊船
平成28年度乗客人数
9万6,744人(前年度比22%増)

道の駅「しかべ間歇泉公園」
(平成28年3月18日オープン)
平成28年12月5日に来場者
30万人突破

函館山ロープウェイ
平成28年度上期利用者数
107万人(前年同期比7%増)

五稜郭タワー
平成28年度上期利用者数
67万人(前年同期比35%増)

旧函館区公会堂
平成28年度上期入館者数
12万人(前年同期比14%増)

湯の川温泉
平成28年度上期入込客数
64万人(前年同期比7%増)



北海道観光と北海道新幹線開業効果

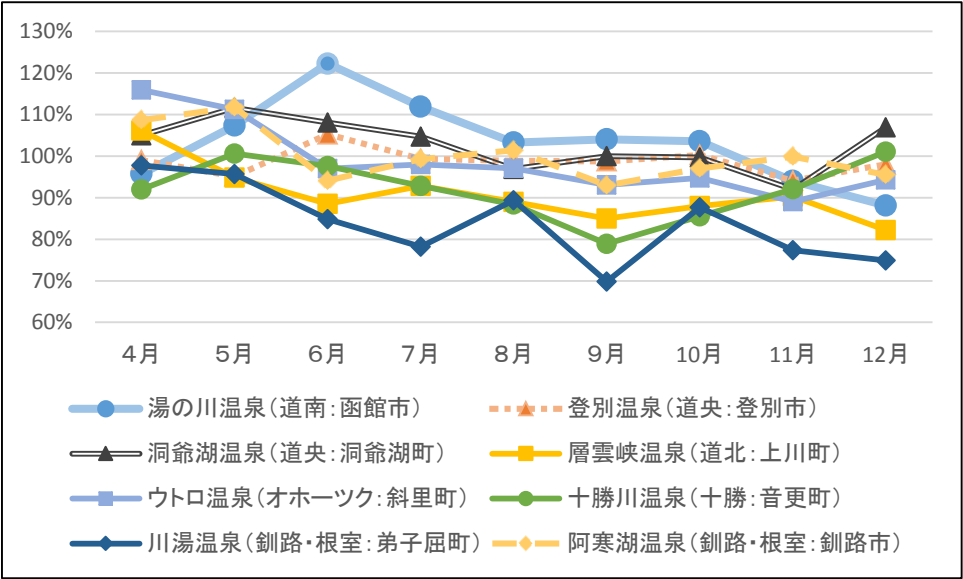
- ◆ 平成28年5月から7月に実施されたアンケート調査によると、函館を訪れる道外観光客の7割は函館のみを訪れ、他の地域への北海道新幹線開業効果の波及は限定的になっている。
- ◆ 函館エリア(函館市、北斗市)でレンタカーを借りて、同じエリアで返却した利用者の割合も同程度。
- ◆ 道内温泉地の入込客数を見ると、函館市の湯の川温泉のほか、函館市と札幌市を結ぶ経路上の洞爺湖温泉、登別温泉は比較的堅調に推移しているが、他の温泉地は伸び悩んでいる。
- ◆ 平成28年7月から8月にフジドリームエアラインズがチャーター便を運航した函館－稚内間、函館－中標津間の搭乗率は37%にとどまった。

道外から函館を訪れた人の行き先(複数回答)

訪れる場所	割合
函館のみ	69.8%
札幌・小樽	20.3%
江差・松前	6.8%
洞爺湖・登別	6.4%
美瑛・富良野	5.8%
他の北海道(ニセコ、知床、苫小牧、八雲等)	5.8%
北海道以外(青森、岩手、宮城、東京等)	3.0%

出典:大橋美幸
「北海道新幹線開業後の現況、函館市民及び来街者の意識調査」
『函大商学論究』第49巻第1号(平成28年9月)より作成
(注)回答数1,149人

平成28年度の道内温泉地入込客数対前年比の推移

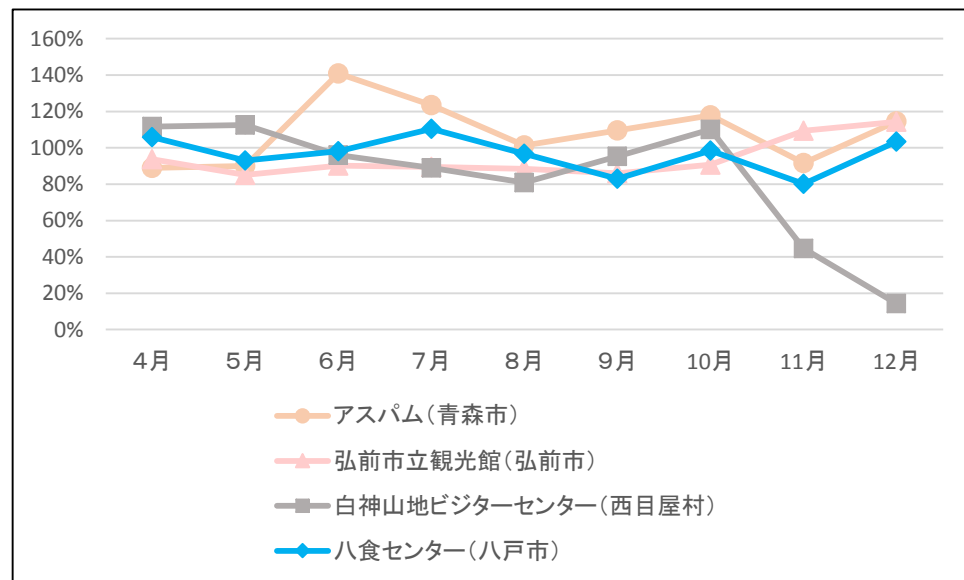


出典:北海道経済部観光局 『観光地点動向調査』より作成

北海道新幹線開業と東北(青森県を例に)

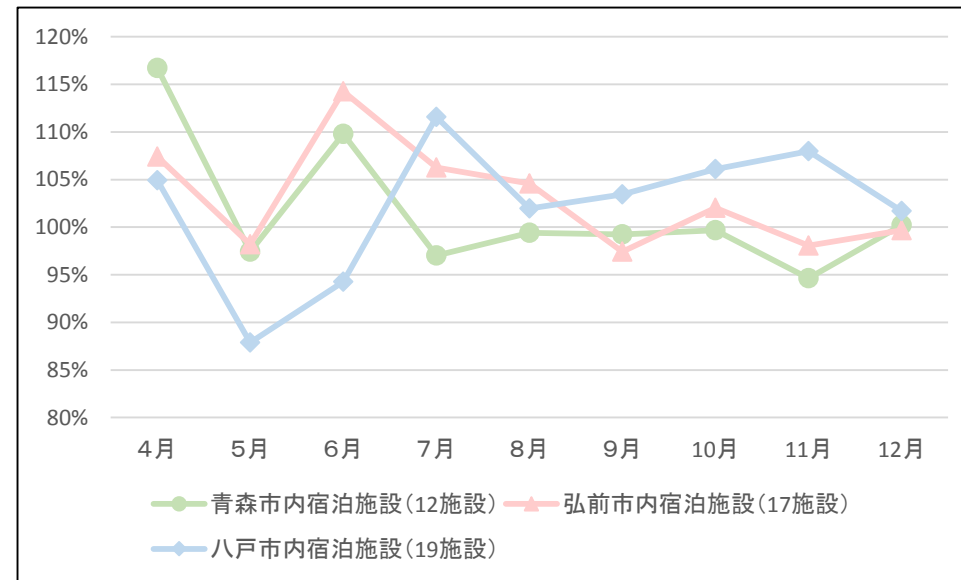
- ◆ 青森県内の観光施設への観光入込客数は、青森市のアスパム以外は伸び悩んでいる。
- ◆ 青森県内の宿泊施設の宿泊客数は、概ね微増基調。
- ◆ 平成28年7月から9月に実施された「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」により、期間中に対象地域の観光施設を訪れた人は前年同期比10%増加したものの、客数の伸び率をエリア別に見ると、イベントは青森3%増に対し道南93%増、観光施設では青森2%増で道南は30%増と、キャンペーン効果には地域差があった。
- ◆ 平成29年7月から9月には「アフターデスティネーションキャンペーン」が実施される予定である。
- ◆ 青森空港と中国、台湾を結ぶ国際チャーター便の利用者は、北海道新幹線等を利用して青森県と北海道を周遊するツアーにも参加している。

平成28年度の青森県内観光施設の観光入込客数対前年比の推移



出典: 青森県国際観光戦略局 『青森県観光入込客数統計』より作成

平成28年度の青森県内宿泊施設の宿泊客数対前年比の推移



出典: 青森県国際観光戦略局 『青森県観光入込客数統計』より作成

北海道新幹線開業を視野に入れた北海道・東北間のビジネス交流の動き

北洋銀行 青森銀行	連携協定締結(平成24年12月) 【主な連携事業】 両行取引先企業の交流促進 両行取引先企業の販路拡大支援 両行取引先企業の海外事業展開支援 北海道、青森における観光振興支援 (実績: 例) 食の事業者、女性リーダー等の交流会開催 両行の取引先企業をマッチングして開発されたコラボレーション商品を、新日本スーパーマーケット協会、アークスの店舗で販売 官民連携ファンド「青函活性化ファンド」設立(平成26年5月) (投資実績) 五島軒(北海道函館市) 青森産りんごを利用したロールケーキ販売 吉田屋(青森県八戸市) 北海道新幹線新函館北斗駅に弁当カフェ出店
北海道銀行 青森銀行 みちのく銀行 岩手銀行 東北銀行 七十七銀行 秋田銀行 北都銀行 荘内銀行 山形銀行 東邦銀行 フィデアホールディングス	業務提携締結(平成25年3月) 【提携の範囲】 各々の地域の経済団体等、各種団体の交流、連携支援 各々の取引先企業の相互地域への進出支援 ビジネスマッチング業務を含めた営業情報の紹介 震災被災住民への商品、サービス等のサポート その他、各々の地域ネットワークを活用した情報、サービスの提供 (実績: 例) ビジネスマッチング開催(於: 札幌、東京) JTB北海道、JTB東北との連携による青森県と南北海道の酒造所を巡るスタンプラリー企画「青函パ酒ポート2016」実施 室蘭市・宮古市経済交流事業
函館商工会議所 青森商工会議所	会員事業所パートナーシップ支援事業開始(平成24年度) 商品開発、販路拡大、技術提携・連携等を促進するため、会員事業所のビジネスマッチングを支援 年間2回、函館、青森それぞれで懇談会を開催 (実績: 例) 地場産品を原料に使用したキャラメル、パイ、ふりかけ、茶漬け、米などが商品化された
函館商工会議所 弘前商工会議所 みちのく銀行	津軽海峡観光クラスター会議設立(平成23年4月) 観光を核とした地域経済の活性化を目指している (実績: 例) はこだてクリスマスファンタジー内で弘前をPRする「ひろさきナイト」開催 函館産米を原料とする日本酒を弘前市の酒蔵が醸造
FMいるか(北海道函館市) FMアップルウェーブ(青森県弘前市)	共同制作番組「弘前・函館満喫交換日記」放送開始(平成26年4月)

出典: 報道資料、各社・団体ホームページ資料等より作成

北海道新幹線開業前後における北海道・東北間の企業進出(例)

- ◆ 北海道新幹線開業の前後において、北海道・東北間においても相互に企業が進出する動きがある。
- ◆ 現状、北海道道南圏域、青森県に本社のある企業の動きが中心である。

北海道から東北地方への企業進出(例)

企業名	本社所在地	主な業務	進出の概要
プロテック	北海道北斗市	屋根板金工事	宮城県仙台市の屋根板金工事業者を子会社化(平成27年5月)
ホテルテトラ	北海道函館市	ホテル	山形県鶴岡市のホテル買収(平成27年12月)
ホテルテトラ	北海道函館市	ホテル	青森県八戸市のホテル買収(平成28年4月)
インフィニットループ	北海道札幌市	ゲーム開発	仙台支社設立(平成28年4月)
医療法人雄心会	北海道函館市	医療機関	青森新都市病院開院(平成29年5月予定)

出典:報道資料、各社・団体ホームページ資料等より作成

東北地方から北海道への企業進出(例)

企業名	本社所在地	主な業務	進出の概要
グローバルノースジャパン	青森県弘前市	飲食業	函館市に飲食店出店(平成27年5月)
東洋社	青森県青森市	クリーニング業	業務拡充により函館営業所移転(平成27年8月)
河北新報社	宮城県仙台市	新聞業	函館市内で定期購読サービス開始(平成28年3月)
吉田屋	青森県八戸市	弁当製造・販売	新函館北斗駅に飲食店出店(平成28年3月)

出典:報道資料、各社・団体ホームページ資料等より作成

北海道・東北間の修学旅行の動向

- ◆ 中学校の国内修学旅行は2泊3日で4月から6月の実施が多く、東北地方からは新幹線を利用して首都圏に行く中学校が多い。
- ◆ 高等学校の国内修学旅行は3泊4日で10月から12月の実施が多く、航空機や新幹線を利用して近畿地方以遠に行っている。
- ◆ 北海道新幹線開業後、中学校において、移動手段を航空機から新幹線に切り替えたり、東北地方からの修学旅行先を北海道に変更する動きがみられる。
- ◆ 修学旅行の行程は実施の約2年前に決まるため、北海道旅客鉄道は、平成30年度以降を見据え、北海道の中学校の目的地を関東地方から東北地方へ、東北地方の中学校の目的地を関東地方から北海道へシフトさせる取組を行っている。

中学校の都道府県別旅行先の構成比（平成27年度）

		旅行先											
		北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	新潟県	関東地方	近畿地方	その他	合計
出発地	北海道	17.8%	6.8%	9.6%	5.5%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	28.8%	17.8%	9.6%	100.0%
	青森県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	96.2%	0.0%	3.8%	100.0%
	岩手県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	宮城県	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	82.1%	14.3%	1.8%	100.0%
	秋田県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	96.2%	0.0%	3.8%	100.0%
	山形県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	82.8%	6.9%	10.3%	100.0%
	福島県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.0%	19.0%	0.0%	100.0%
	新潟県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	98.3%	0.0%	100.0%

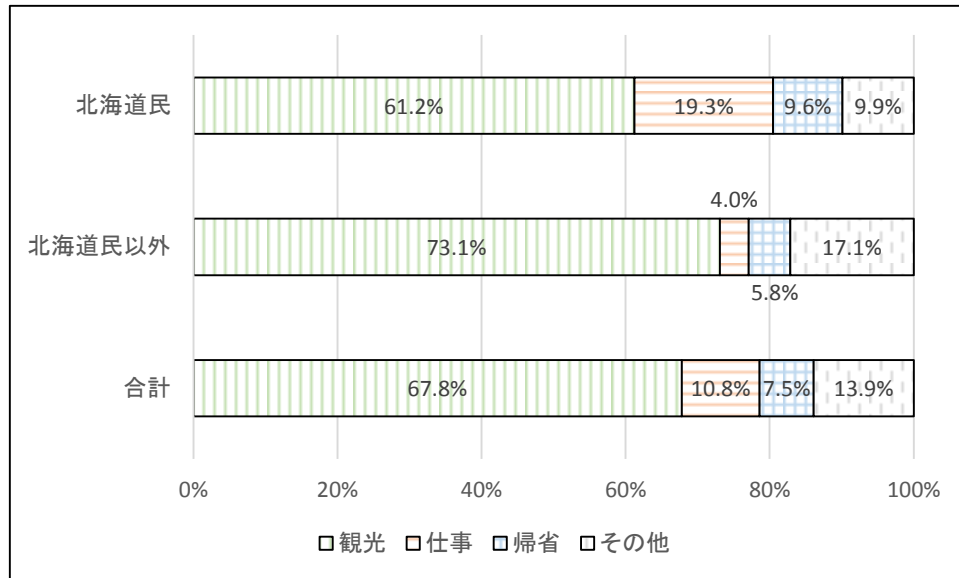
高等学校の都道府県別旅行先の構成比（平成27年度）

		旅行先											
		北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	新潟県	関東地方	近畿地方	その他	合計
出発地	北海道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.7%	62.8%	14.5%	100.0%
	青森県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	79.1%	20.9%	100.0%
	岩手県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	92.2%	7.8%	100.0%
	宮城県	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	75.0%	16.7%	100.0%
	秋田県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	96.2%	3.8%	100.0%
	山形県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	79.3%	20.7%	100.0%
	福島県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	67.3%	28.8%	100.0%
	新潟県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.8%	31.0%	55.2%	100.0%

北海道新幹線開業2年目に向けて

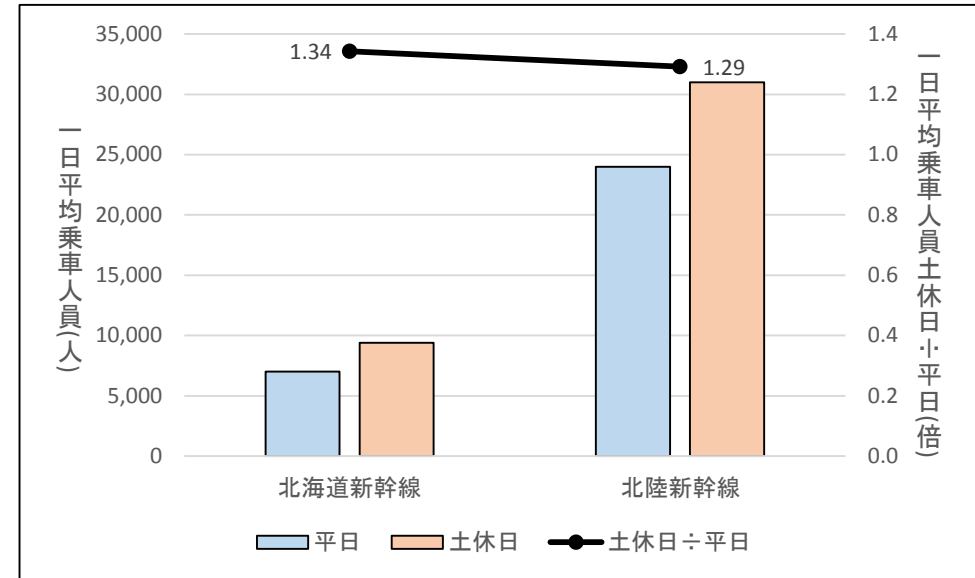
- ◆ 北海道新幹線の一日平均乗車人員は、函館市の観光シーズンには当初想定を上回る水準で推移した。
- ◆ 観光目的での利用割合が高いこともあり、北海道新幹線の平日と土休日の一日平均乗車人員の差は、北陸新幹線よりも大きくなっている。
- ◆ 現状、北海道新幹線開業を契機とする北海道・東北間のビジネスの動きは、情報収集・市場調査が中心となっているが、将来的には取引先の開拓にも関心が持たれている。
- ◆ 観光客に加え、ビジネス客、修学旅行生を受け入れる取組も推進することにより、北海道新幹線開業効果の持続・拡大、北海道・東北双方の活性化につながると期待される。

北海道新幹線の利用目的



出典: 大橋美幸
 「北海道新幹線開業後の現況、函館市民及び来街者の意識調査」
 『函大商学論究』第49巻第1号(平成28年9月)より作成
 (注) 回答数907人

開業後半年間の平日・土休日別一日平均乗車人員



出典: 北海道旅客鉄道株式会社資料、西日本旅客鉄道株式会社資料より作成

北海道新幹線の概要



区間	新青森～新函館北斗	新函館北斗～札幌
開業(予定)	平成28年3月26日	2030年度末予定
工事延長	約148km	約212km

(注)平成27年1月14日、政府・与党整備新幹線検討委員会において新函館北斗～札幌間の開業時期を5年前倒し、2030年度末の完成・開業を目指すことが決定されている。

列車名			はやぶさ		はやて	
運転区間			東京－新函館北斗	仙台－新函館北斗	盛岡－新函館北斗	新青森－新函館北斗
運転本数(往復／日)			10	1	1	1
北海道 新幹線	新函館北斗	北海道	●	●	●	●
	木古内	北海道	□	－	●	●
	奥津軽いまべつ	青森県	□	－	●	●
	新青森	青森県	●	●	●	●
東北 新幹線	七戸十和田	青森県	□	●	●	
	八戸	青森県	□	●	●	
	二戸	岩手県	□	●	●	
	いわて沼宮内	岩手県	□	●	－	
	盛岡	岩手県	●	●	●	
	新花巻	岩手県	－	●		
	北上	岩手県	－	●		
	水沢江刺	岩手県	－	●		
	一ノ関	岩手県	－	●		
	くりこま高原	宮城県	－	●		
	古川	宮城県	－	●		
	仙台	宮城県	●	●		
	白石蔵王	宮城県	－			
	福島	福島県	－			
	郡山	福島県	－			
	新白河	福島県	－			
	那須塩原	栃木県	－			
	宇都宮	栃木県	－			
	小山	栃木県	－			
	大宮	埼玉県	●			
	上野	東京都	□			
	東京	東京都	●			

(注)●:全列車停車駅、□:一部列車停車駅、—:通過駅

1編成当たり定員:731名(グランクラス18名、グリーン車55名、普通車658名)

平成29年3月4日現在

出典：北海道資料等より作成